

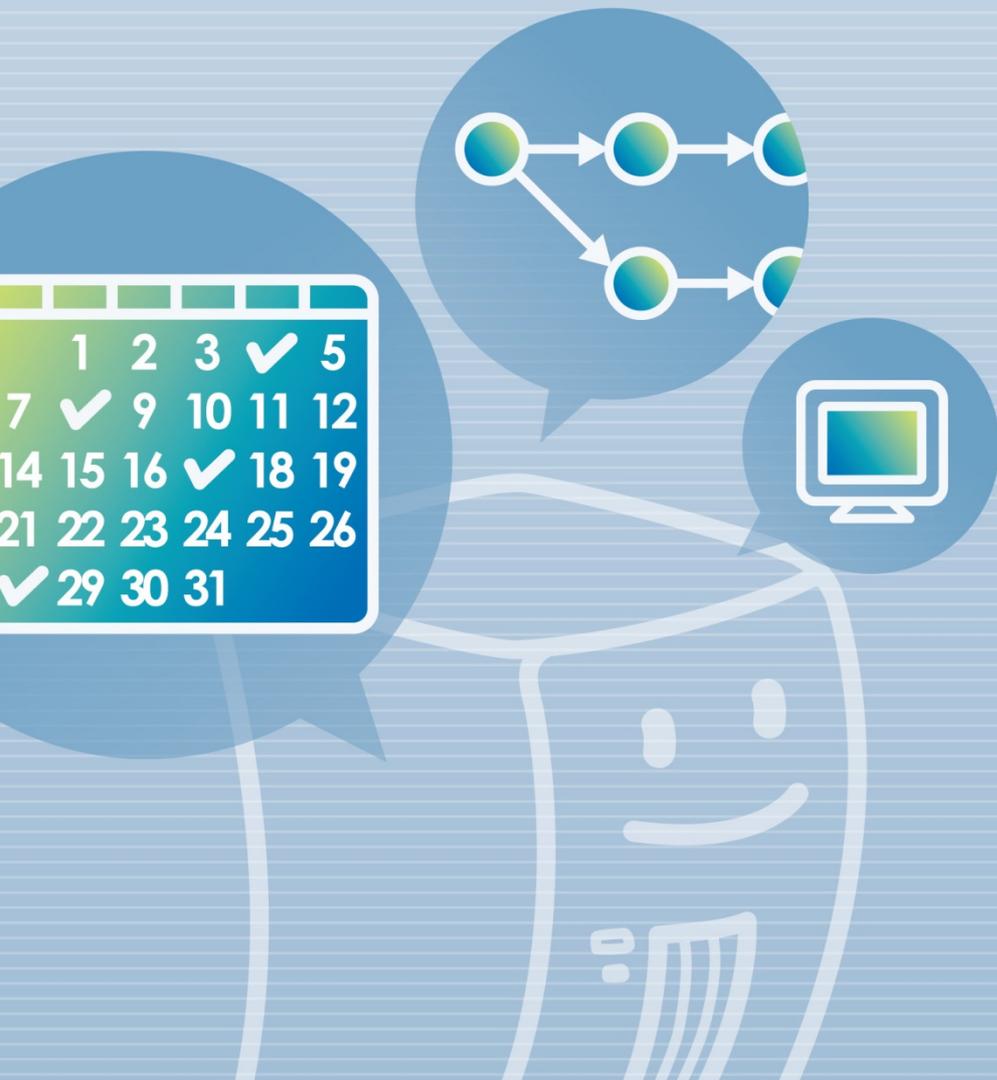
現場担当者が選んだ

基本&Tips

JP1のジョブ管理 お役立ちガイド

JP1/Automatic Job Management System 3

3021-3-150



3ステップでわかる!

JP1/AJS3の基本

8つの便利な技を厳選紹介

JP1/AJS3のTips

JP1/AJS3 Version 10

新機能のご紹介

さらに便利な

オプション製品のご紹介

用語解説

目次

あなたの会社のジョブ管理 JP1ではこんな運用に.....	2
JP1でジョブ管理を行うには ～システム構成例～	4
インストールの流れ	5

3ステップでわかる！

JP1 / AJS3の基本	6
Step1 ジョブの定義	6
Step2 ジョブの実行	11
Step3 ジョブの監視	12

8つの便利な技を厳選紹介

JP1 / AJS3のTips	14
------------------------------	----

ジョブの定義編

Tip1 他部署の処理が完了したら、自部署の処理を実行したい	14
Tip2 ファイルの作成完了をきっかけに後続ジョブを実行したい	16
Tip3 給与支給日を振り替えたら、給与計算日もずらしたい	18
Tip4 画面で見ている定義情報を報告書で使える形式に出力したい	20

ジョブの実行編

Tip5 日時を指定し、自動でジョブネットを切り替えたい	22
Tip6 実行中の業務を止めないでジョブの定義を修正したい	24

ジョブの監視編

Tip7 複数の業務の進捗度や実行状況を1つの画面で監視したい	26
Tip8 障害が起こった業務サーバ内の業務を保留にしたい	28

コラム

実行エージェントを活用してスマートにジョブ管理	30
-------------------------------	----

JP1/AJS3 Version 10 新機能のご紹介	32
--	----

さらに便利なオプション製品のご紹介	36
--------------------------------	----

用語解説	39
-------------------	----

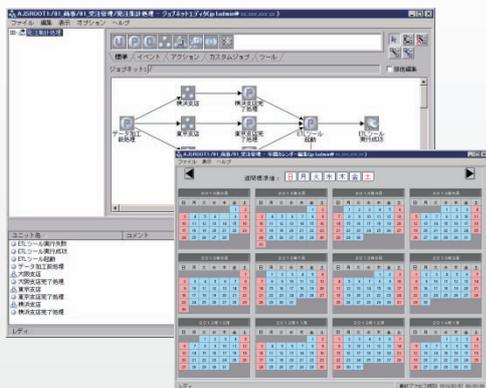
このマニュアルでの表記	42
--------------------------	----

あなたの会社のジョブ管理



JP1では、このようにジョブを定義、実行、監視します。

定義 …業務の流れを見える化



業務の流れをジョブとして定義します。フローチャートのような形式なので、定義しやすく、実行順序もひと目で把握できます。

定義したジョブには、実行する時間帯や実行間隔を設定します。カレンダーを使い「第1営業日」を指定するなど、柔軟なスケジュールも可能です。

- ▶▶ 解説は … P.6 ジョブの定義
- 便利なTipsは … P.14 ジョブの定義編

実行 …選べる！実行パターン



ジョブの実行パターンは3種類、「事前に定義したスケジュールにもとづいて実行する」、「期間を指定して実行する」、「今すぐに実行する」から選択できます。これらを使い分けることで、長期間にわたってジョブを実行したい場合にも、テストのために1回だけジョブを実行したい場合にも対応できます。

- ▶▶ 解説は … P.11 ジョブの実行
- 便利なTipsは … P.22 ジョブの実行編

監視 …業務の実行状況をひと目で把握



業務の実行状況を監視します。実行状況を一覧で把握できるため、異常終了や障害が発生した場合でも、影響を受ける業務を素早く見つけ出し、対応できます。

- ▶▶ 解説は … P.12 ジョブの監視
- 便利なTipsは … P.26 ジョブの監視編

JP1ではこんな運用に

ジョブ管理はJP1/AJS3におまかせ！

システムやサービスを起動する、売上データを集計する、集計結果を出力する・・・
このような定型業務を自動実行するための製品が JP1/AJS3 です。業務を自動
実行することで、人為的なミスが低減でき、業務の正確性が高まります。

わかりやすい
画面

きめ細かく豊富な
スケジュール
機能

高い
信頼性

大規模な
システムの業務
にも対応可能

Automatic Job Management System 3

機能メニュー

- 定義
 - ジョブグループ定義
 - ジョブネット定義
 - カレンダー定義
 - スケジュール定義
- 実行
 - 実行登録
 - 登録解除
 - リリース登録
 - リリース中止
- 監視
 - ステータス監視
 - サマリー監視

階層表示:

- AJSROOT1
 - AgentM
 - DB
 - MonSvr
 - Queue
 - 全社連携業務

開いている階層: 全社連携業務

名前	状態	結果	種別
Web/タッチ処理 (日次)	警告後出実行		ジョブネット
Web/タッチ処理 (日次)	実行中		ジョブネット
Web/タッチ処理 (月次)	実行中		ジョブネット
Web/タッチ処理 (週次)	実行中		ジョブネット
人事管理	開始時刻待ち	正常終了	ジョブネット
備品管理	開始時刻待ち	正常終了	ジョブネット
入金処理	開始時刻待ち	正常終了	ジョブネット
割増資金の単価計算	開始時刻待ち	正常終了	ジョブネット
勤怠計算	開始時刻待ち	正常終了	ジョブネット
原価計算	開始時刻待ち	正常終了	ジョブネット
受注処理	開始時刻待ち	正常終了	ジョブネット
在庫管理	開始時刻待ち	正常終了	ジョブネット
年末調整	開始時刻待ち	正常終了	ジョブネット
発注処理	開始時刻待ち	正常終了	ジョブネット
振務申告	開始時刻待ち	正常終了	ジョブネット
経理	開始時刻待ち	正常終了	ジョブネット
給与明細書の発行	開始時刻待ち	正常終了	ジョブネット
給与計算	警告後出実行		ジョブネット
製造指示	開始時刻待ち	正常終了	ジョブネット

詳細情報: 実行世代

名前	コメント	種別	状態	開始予定日時	開始日時
Web/タッチ処理 (日次)		ジョブネット	警告後出実行中	2012/07/04 00:00:00	
Web/タッチ処理 (日次)		ジョブネット	開始時刻待ち	2012/07/05 00:00:00	2012/07/04 11:33
Web/タッチ処理 (月次)		ジョブネット	実行中	2012/07/04 00:00:00	
Web/タッチ処理 (月次)		ジョブネット	開始時刻待ち	2012/07/05 00:00:00	2012/07/04 13:14
Web/タッチ処理 (週次)		ジョブネット	実行中	2012/07/04 00:00:00	
Web/タッチ処理 (週次)		ジョブネット	開始時刻待ち	2012/07/05 00:00:00	2012/07/04 14:17
人事管理		ジョブネット	正常終了	2012/07/05 00:00:00	
人事管理		ジョブネット	開始時刻待ち	2012/07/04 13:30:00	2012/07/04 13:30
備品管理		ジョブネット	正常終了	2012/07/05 13:30:00	
備品管理		ジョブネット	開始時刻待ち	2012/07/04 13:30:00	2012/07/04 13:30
入金処理		ジョブネット	正常終了	2012/07/04 13:30:00	
入金処理		ジョブネット	開始時刻待ち	2012/07/05 13:30:00	2012/07/04 13:30
割増資金の単価計算		ジョブネット	正常終了	2012/07/04 13:30:00	
割増資金の単価計算		ジョブネット	開始時刻待ち	2012/07/05 13:30:00	2012/07/04 13:30
勤怠計算		ジョブネット	正常終了	2012/07/04 13:30:00	
勤怠計算		ジョブネット	開始時刻待ち	2012/07/05 13:30:00	2012/07/04 13:30

最終アクセス時刻 2012/07/04 14:17:33

【JP1/AJS3 - View】ウィンドウ(メイン画面)

JP1でジョブ管理を行うには ~システム構成例~

JP1/AJS3 を活用してジョブ管理を行う場合のシステム構成例を紹介します。

それぞれの製品はどんな役割を担っているの？

ジェーピーワン
エージェーエス スリー ビュー
JP1/AJS3 - View 用語

ジョブの定義や実行状況の確認を GUI から操作するためのビューア製品です。

JP1/AJS3 - View は JP1/AJS3 - Manager と同一サーバにインストールすることもできます。

ジェーピーワン
エージェーエス スリー マネージャー
JP1/AJS3 - Manager 用語

ジョブの定義や実行を制御するためのマネージャー製品です。ジョブの実行を JP1/AJS3 - Agent に依頼します。

ジェーピーワン ベース
JP1/Base 用語

JP1/AJS3 - Manager の前提製品です。

管理システム



JP1/AJS3 - View

JP1/AJS3 - Manager

JP1/Base

ジョブ

業務システム



JP1/AJS3 - Agent

JP1/Base

ジョブ

ジェーピーワン
エージェーエス スリー エージェント
JP1/AJS3 - Agent 用語

ジョブを実行するエージェント製品です。
JP1/AJS3 - Manager から依頼を受けたジョブを実行します。

JP1/Base

JP1/AJS3 - Agent の前提製品です。

JP1/AJS3 - Manager はエージェントとしての機能を含んでいます。小規模なシステムの場合は、JP1/AJS3 - Agent を使用しないで、JP1/AJS3 - Manager だけで構成することもできます。

インストールの流れ

インストール媒体をセットして、ウィザードの画面に従いインストールを実施します。
JP1/AJS3 は、インストールするだけですぐに運用を開始できます。



管理システム

インストールの順

JP1/Base

JP1/AJS3 - Manager

JP1/AJS3 - View

さらに詳しく知りたいとき(製品マニュアルの参照先)

JP1 Version 10 JP1/Base 運用ガイド
(3021-3-001)

2. インストールとセットアップ

<http://www.hitachi.co.jp/soft/manual/rd/jp1/30213150/BASE0041a.html>

JP1 Version 10 JP1/Automatic Job Management System 3 構築ガイド 1
(3021-3-105-01)

2. インストール

<http://www.hitachi.co.jp/soft/manual/rd/jp1/30213150/AJSX0010a.html>

3.1 JP1/AJS3 - Manager で必要なセットアップ

<http://www.hitachi.co.jp/soft/manual/rd/jp1/30213150/AJSX0017.html>

JP1 Version 10 JP1/Automatic Job Management System 3 構築ガイド 1
(3021-3-105-01)

2. インストール

<http://www.hitachi.co.jp/soft/manual/rd/jp1/30213150/AJSX0010b.html>

3.3 JP1/AJS3 - View で必要なセットアップ

<http://www.hitachi.co.jp/soft/manual/rd/jp1/30213150/AJSX0023.html>



業務システム

インストールの順

JP1/Base

JP1/AJS3 - Agent

さらに詳しく知りたいとき(製品マニュアルの参照先)

JP1 Version 10 JP1/Base 運用ガイド
(3021-3-001)

2. インストールとセットアップ

<http://www.hitachi.co.jp/soft/manual/rd/jp1/30213150/BASE0041b.html>

JP1 Version 10 JP1/Automatic Job Management System 3 構築ガイド 1
(3021-3-105-01)

2. インストール

<http://www.hitachi.co.jp/soft/manual/rd/jp1/30213150/AJSX0010c.html>

3.2 JP1/AJS3 - Agent で必要なセットアップ

<http://www.hitachi.co.jp/soft/manual/rd/jp1/30213150/AJSX0020.html>

日立ソフトウェアマニュアル

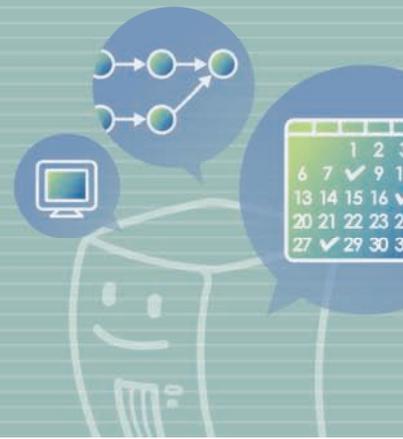
各製品のマニュアルはインターネットで公開しています。

<http://www.hitachi.co.jp/soft/manual/rd/jp1/30213150/manual.html>



3ステップでわかる！ JP1/AJS3の基本

さまざまな作業から成り立つ日々の業務。これを自動化するのがジョブ管理です。JP1/AJS3は、どうやって業務を自動化するのでしょうか？ここでは、自動化するのに知っておいてほしいJP1/AJS3の基本を紹介します。



Step1 ジョブの定義

日々の業務をJP1/AJS3の定義に当てはめてみましょう

JP1/AJS3では、**ジョブ**、**ジョブネット**、**ジョブグループ**といった要素(ユニット 用語)を使って、自動化したい業務を定義します。それぞれのユニットは次のような役割を持っています。

●ジョブ 用語

自動化する処理の最小単位です。コマンド、アプリケーションプログラム、シェルスクリプトなどの処理を定義できます。

●ジョブネット 用語

複数のジョブの実行順序を定義したものです。自動化された業務はジョブネット単位で実行されます。

●ジョブグループ 用語

複数のジョブネットをグルーピングしたものです。業務や部署単位でジョブグループを作成することで、ジョブネットが管理しやすくなります。

ジョブグループ

ジョブネット

ジョブ ジョブ

ジョブネット

ジョブ ジョブ

日々の業務を JP1/AJS3 の定義に当てはめたのが次の図です。以降では、販売管理業務を例に、ジョブネットの定義について説明します。

販売管理業務

日次処理

本社の売上データ集計

関西支社の売上データ集計

週次処理

各支社の集計結果のマージ

売上状況報告書の作成

月次処理

バックアップの作成

バックアップの転送



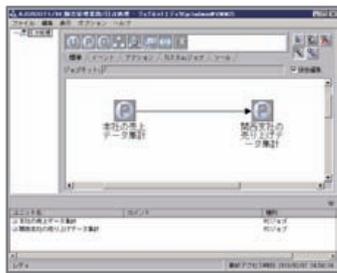
フォルダのような使い方ができます

ジョブグループは、ジョブネットをまとめて管理するフォルダのようなもの。ジョブグループの下に、さらにジョブグループを作成することもできます！

ジョブネットの実行順序を定義するには

次の図は、販売管理業務の各処理をジョブネットとして定義した画面です。個々の作業(ジョブ)を**関連線** **用語** でつないで、実行順序を定義できます。

なお、ジョブネットは、日次処理(毎日実行する処理)、週次処理(週に1度実行する処理)、月次処理(月に1度実行する処理)というように、実行スケジュールの異なるジョブネットごとに分けて作成しましょう。



日次処理



週次処理



月次処理

また、販売管理業務のように1つの業務(ジョブグループ)に複数の処理(ジョブネット)を定義する場合、ジョブネット(ルートジョブネット)の下にジョブネット(ネストジョブネット)を配置するといった定義方法もあります。この方法は、同じ処理で、かつ実行スケジュールの異なる複数のジョブネットを1つのネストジョブネットにまとめることができます。さらに、1つのネストジョブネットを使って複数のスケジュールを定義するといった柔軟な運用が可能です。

●ルートジョブネット **用語**

最上位のジョブネットです。ルートジョブネット、ネストジョブネットを使って定義した場合、自動化された業務はルートジョブネット単位で実行されます。

●ネストジョブネット **用語**

ルートジョブネットの下位に定義されたジョブネットです。ルートジョブネットに関連する処理をネストジョブネットとして定義することで、JP1/AJS3で定義した業務が管理しやすくなります。



業務全体を把握!

ルートジョブネットとネストジョブネットを配置することで、業務全体の流れを1枚のフロー図で把握できます。

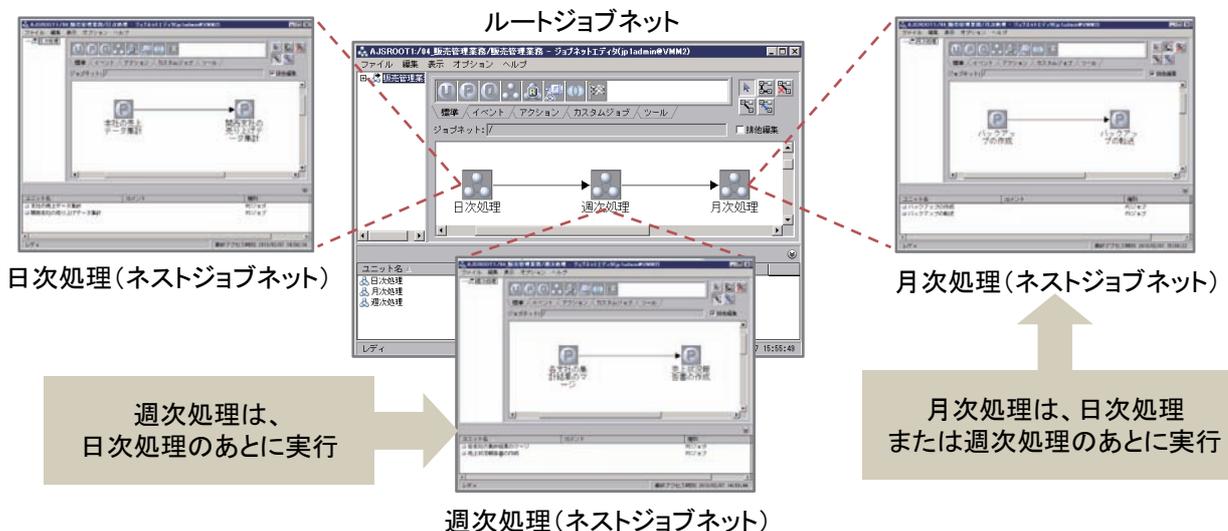
基本

Tips

新機能

オプション製品

用語解説



こんなときに!

別々のジョブネットとして定義しても、実行順序を意識できるので、日次処理、週次処理、月次処理の実行日が重なってしまう業務で活用すると便利です。

カレンダーとスケジュールを分けて定義するメリットとは

JP1/AJS3 では、業務の実行スケジュールを定義するのに、**カレンダー定義**と**スケジュール定義**の両方を使用します。例えば、「月曜から土曜まで毎日 10:00」に実行するジョブネットがある場合、「月曜から土曜まで」の部分にはカレンダー定義を、「毎日 10:00」の部分にはスケジュール定義を使用します。

●カレンダー定義 用語

カレンダーに照らし合わせて、ジョブネットを実行する日(曜日)または実行しない日(曜日)を定義します。

カレンダー定義は、ジョブネットごとではなく、その上位にあるジョブグループごとに設定します。ジョブグループに定義した業務や部門の運用日や休業日に合わせて設定しましょう。



カレンダー定義の
編集画面(年間)

カレンダー定義の
編集画面(月間)

●スケジュール定義 用語

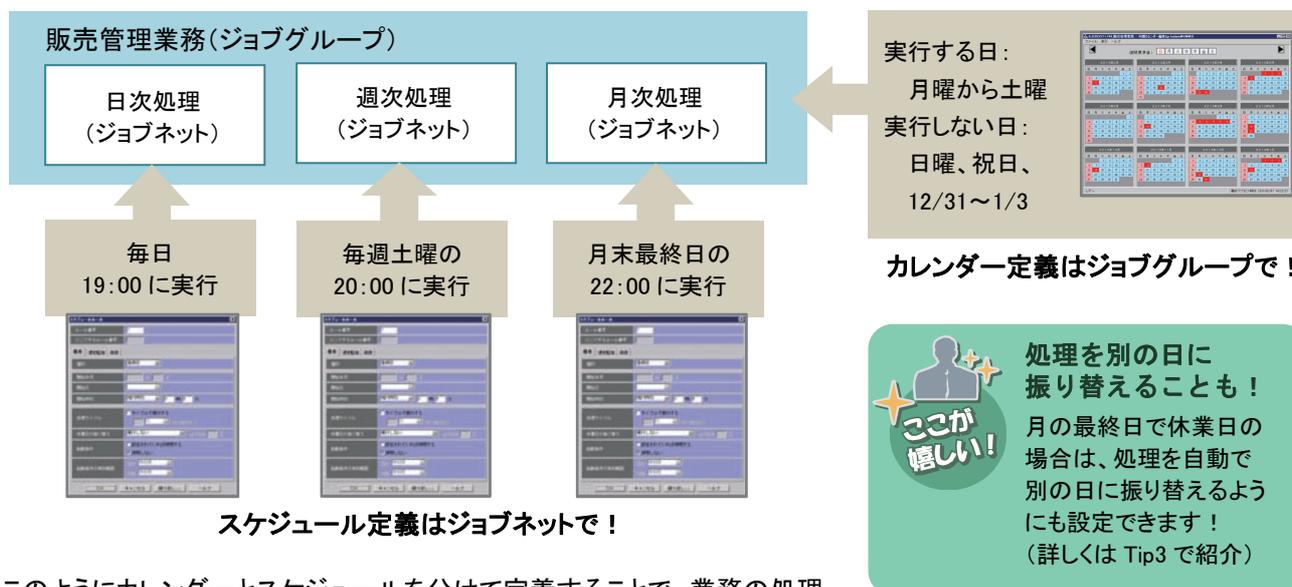
実行する時間帯や実行間隔など、カレンダー定義よりもさらに細かいスケジュールをジョブネットに定義します。

スケジュール定義は、ジョブネットごとに設定できます。



スケジュールの定義画面

販売管理業務におけるカレンダー定義とスケジュール定義の適用イメージを次に示します。



このようにカレンダーとスケジュールを分けて定義することで、業務の処理ごとに異なる実行スケジュールが設定でき、きめ細かい運用が可能になります。

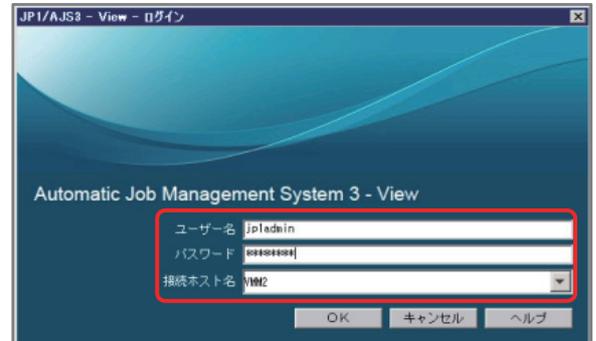
Step1 操作の流れを見てみましょう

自動化したい業務を JP1/AJS3 で定義し、実行スケジュールを設定します。

1 JP1/AJS3 にログインします。

ユーザー名、パスワード、接続ホスト名を入力します。

参考 ユーザー名とパスワードには「jp1admin」がデフォルトで定義されています。接続ホスト名には、ログインする JP1/AJS3 - Manager のサーバ名を入力してください。

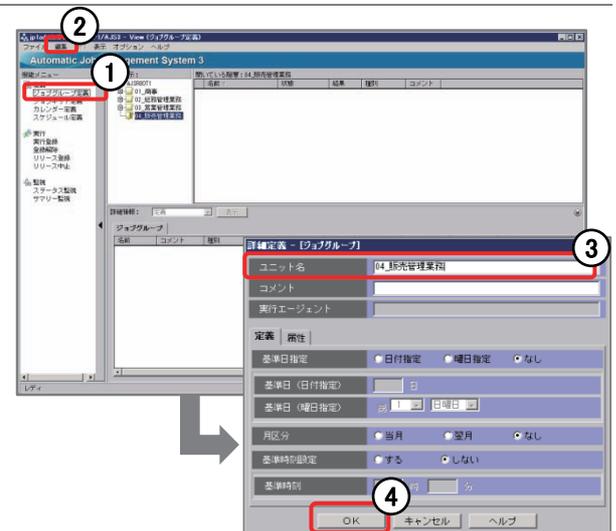


2 ジョブグループを定義します。

メイン画面で[ジョブグループ定義]を選択します(図中①)。

[編集] - [新規作成] - [ジョブグループ]を選択すると(図中②)、
[詳細定義 - [ジョブグループ]]画面が開きます。

ユニット名にジョブグループの名称を入力し(図中③)、[OK]ボタンをクリックします(図中④)。

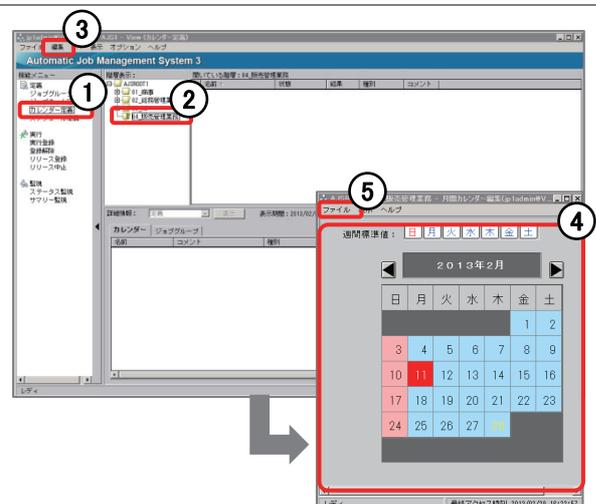


3 ジョブグループに対して、カレンダーを定義します。

[カレンダー定義]と(図中①)、ジョブグループを選択します(図中②)。

[編集] - [カレンダー]を選択すると(図中③)、[月間カレンダー編集]画面が開きます。

運用日、休業日を定義したら(図中④)、[ファイル] - [保存]を選択し(図中⑤)、画面を閉じます。



次ページへ続く

基本

TIPS

新機能

オプション製品

用語解説

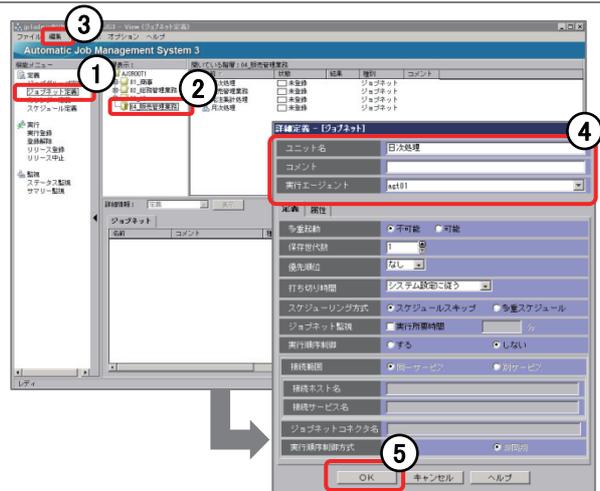
4 ジョブネットを定義します。

[ジョブネット定義]と(図中①)、ジョブグループを選択します(図中②)。

[編集]—[新規作成]—[ジョブネット]を選択すると(図中③)、[詳細定義—[ジョブネット]]画面が開きます。

ユニット名にジョブネットの名称を、実行エージェントに実行エージェントの名称を入力し(図中④)、[OK]ボタンをクリックします(図中⑤)。

参考 実行エージェントとは、ジョブやジョブネットの実行先を指定する任意の名称です(詳しくは、Tipsのあとにあるコラムで紹介)。



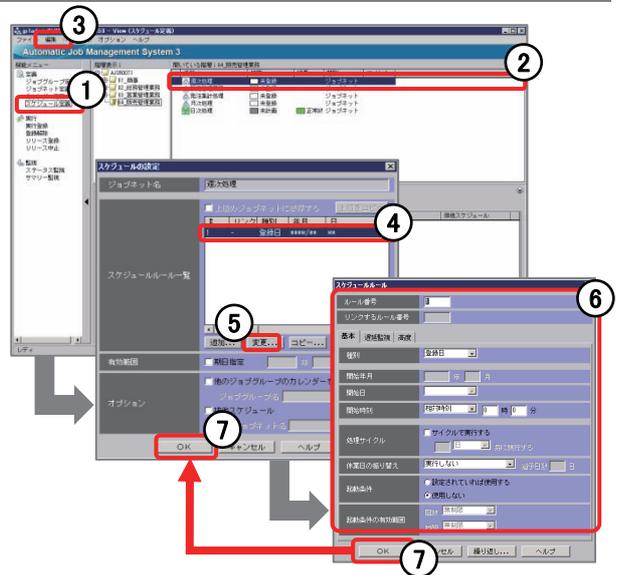
5 ジョブネットに対して、スケジュールを定義します。

[スケジュール定義]と(図中①)、ジョブネットを選択します(図中②)。

[編集]—[スケジュール]を選択すると(図中③)、[スケジュールの設定]画面が開きます。

[スケジュールルール一覧]でスケジュールルールを選択し(図中④)、[変更]ボタンをクリックすると(図中⑤)、[スケジュールルール]画面が開きます。

種別、開始年月、開始日、開始時刻、処理サイクルなどを入力し(図中⑥)、各画面の[OK]ボタンをクリックします(図中⑦)。

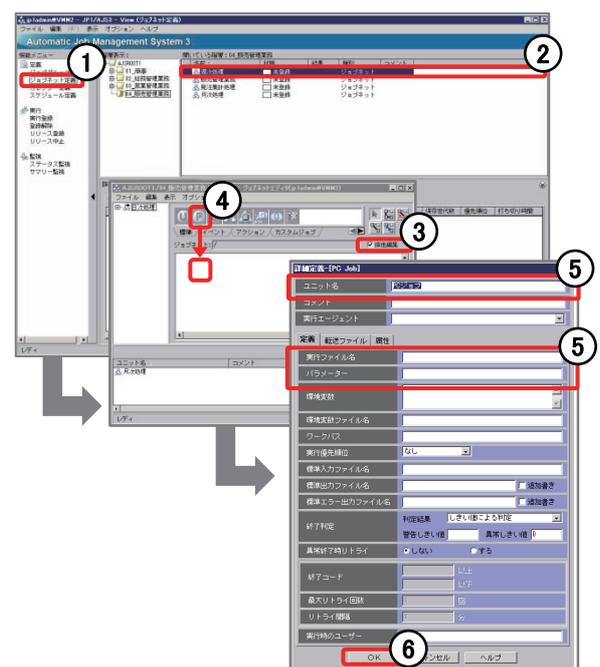


6 ジョブを定義します。

[ジョブネット定義]を選択し(図中①)、ジョブネットをダブルクリックすると(図中②)、[ジョブネットエディタ]画面が開きます。

[排他編集]をチェックして(図中③)、[標準]タブで [F] をドラッグし、定義領域にドロップすると(図中④)、[詳細定義—[PC Job]]画面が開きます。

ユニット名にジョブの名称を、また、実行ファイル名、パラメーターを入力し(図中⑤)、[OK]ボタンをクリックします(図中⑥)。



Step2 ジョブの実行

目的に応じて実行パターンを変えましょう

Step1 の定義が完了したら、JP1/AJS3 による運用を開始しましょう。JP1/AJS3 では、定義内容をシステムに反映し、運用を開始することを**実行登録** **用語** といいます。実行登録には、次に示す 3 つのパターンがあり、ジョブネット（ルートジョブネット）ごとに設定する必要があります。

●計画実行登録 **用語**

カレンダーやスケジュールをもとに、ジョブネットを実行します。実行登録後にカレンダーやスケジュールを修正した場合、実行登録を解除しなくても、すぐに修正内容が反映されます。



こんなときに！

年度始めに運用日を再設定するなど、カレンダーやスケジュールを変更する可能性のあるジョブネットに適しています。

●確定実行登録 **用語**

カレンダーやスケジュールをもとに、ジョブネットを実行します。実行登録時に、期間（または世代数 **用語**）を設定でき、この期間内に実行されるジョブネットについては実行日時を変更したり、実行予定日を追加したりできます。なお、カレンダーやスケジュールを修正する際には、実行登録を解除してください。



こんなときに！

実行予定日時を調整して運用する可能性のあるジョブネットに適しています。

●即時実行登録 **用語**

実行登録と同時にジョブネットを実行します。カレンダーやスケジュールに関係なく実行できます。



こんなときに！

テスト実行など、すぐに実行したいジョブネットに適しています。

Step2 操作の流れを見てみましょう

ここでは、計画実行登録で、ジョブネットの運用を開始します。確定実行登録や即時実行登録の場合も同様の流れで設定できます。

1 ジョブネットを選択し、計画実行を登録します。

メイン画面で[実行登録]と(図中①)、ジョブネットを選択します(図中②)。

[操作] - [実行登録]を選択すると(図中③)、[実行登録]画面が開きます。

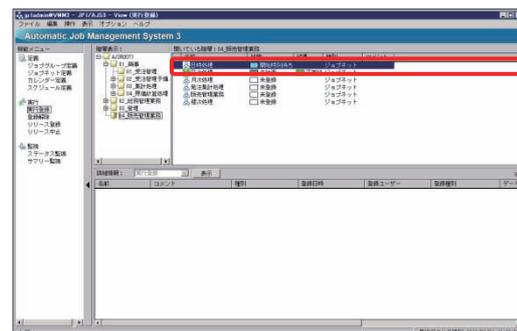
登録方法で[計画実行]を選択し(図中④)、[OK]ボタンをクリックします(図中⑤)。



2 計画実行が登録されたことを確認します。

計画実行を登録したジョブネットの状態が、開始時刻待ちになっていたら実行登録は完了です。

参考 実行登録されていないジョブネットは**状態が未登録**になっています。
また、実行予定時刻を超過している場合は**状態が実行中**になっています。



Step3 ジョブの監視

目的に応じて監視画面を使い分けましょう

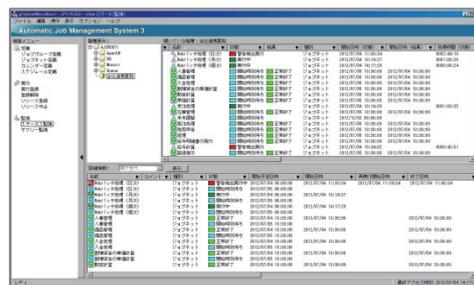
実行登録したジョブネットの実行状況や進行状況は、目的に応じた形式で監視できます。JP1/AJS3 の主な監視画面には、**ステータス監視**と**サマリー監視**があります。

●ステータス監視 用語

画面を表示した時点でのジョブネットの実行状況を監視できます。実行前のジョブネットはその開始予定日時が、実行済みのジョブやジョブネットは開始予定日時に加え、実際の開始日時も表示されます。



Step1 で定義したカレンダーやスケジュールに沿って業務が実行されているかを監視するのに適しています。



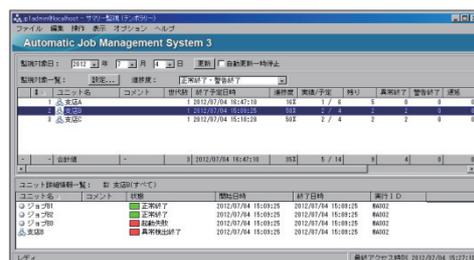
実行済/未済の監視

●サマリー監視 用語

監視したいジョブネットをあらかじめピックアップしておくことで、ジョブネットの進行状況が1つの画面で監視できます。過去の実行所要時間からシミュレーションされた終了予定日時も表示されます。



開始や終了の遅延が業務に大きな影響を与えるジョブネットをリアルタイムに監視するのに適しています。



進行状況の監視

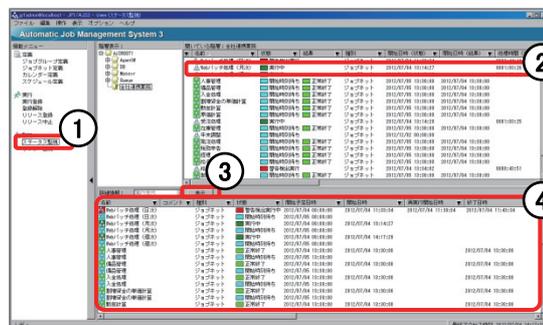
Step3 操作の流れを見てみましょう

ステータス監視の画面で、ジョブネットの実行状況を把握します。サマリー監視については Tip7 でご紹介しています。

1 ジョブネットを選択し、実行状況を確認します。

メイン画面で[ステータス監視]と(図中①)、実行状況を把握したいジョブネットを選択します(図中②)。

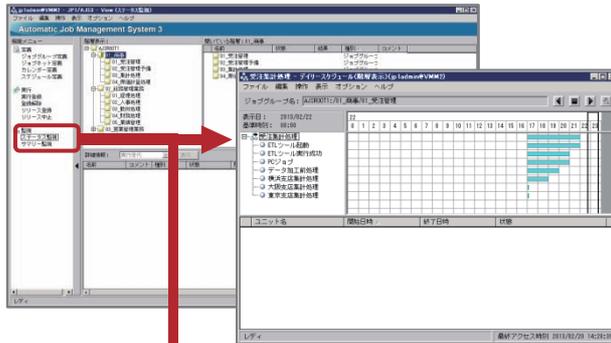
[表示]ボタンをクリックすると(図中③)、状態、開始予定日時、終了日時など、ジョブネットの実行状況が表示されます(図中④)。





ほかにも色々な形式の画面で状況を監視できます

ステータス監視やサマリー監視では、画面を表示した時点でのジョブネットの実行状況だけでなく、日単位や月単位でもジョブネットの実行状況を監視できます。また、マップ形式で表示して、実行状況を監視することもできます。



日単位での実行状況の監視

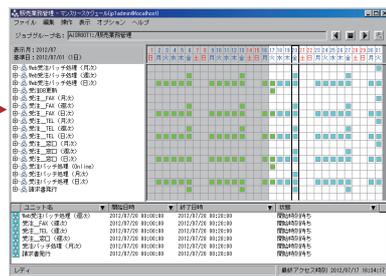
[デイリースケジュール]画面

日単位でのジョブネットの実行状況が監視できます。ジョブやジョブネットと、1日単位での実行状況が横並びに表示された画面で状況を把握できます。



こんなときに!

予定していた時間どおりに業務が実行されているか、異常は起きているかなどを監視したいときに適しています。



月単位での実行状況の監視

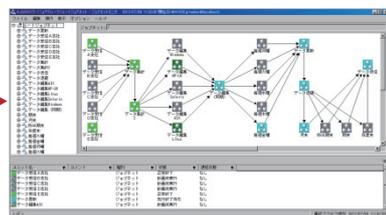
[マンスリースケジュール]画面

月単位でのジョブネットの実行状況が監視できます。ジョブやジョブネットと、1か月単位の実行日が横並びに表示された画面で状況を把握できます。



こんなときに!

実行日が正しく定義されているか、実行日に問題なく業務が実行されているかなどを監視したいときに適しています。



マップ形式での監視

[ジョブネットモニタ]画面

ジョブネットやジョブの実行予定または実行状態を、ジョブやジョブネットを定義したときと同じ形式で確認できます。



こんなときに!

ジョブネットごとに問題なく業務が実行されているか実行順序と併せて監視したいときに適しています。

これらの監視画面では、アイコンの色でジョブやジョブネットの実行状況が区別できます。なお、状態を表す色はカスタマイズできるため、現在使用しているツールやソフトウェアなどの表示と合わせることもできます。

- 実行中
- 保留中
- 実行開始待ち
- 異常終了
- 正常終了
- 遅延中

8つの便利な技を厳選紹介 JP1/AJS3のTips

たくさんある JP1/AJS3 の機能の中から、今すぐ実践で使える Tips を 8 つ厳選してご紹介します。JP1/AJS3 の便利な機能を使いこなして、ジョブ管理をもっと快適にしましょう。

ジョブの 定義編

Tip1

異なるジョブネットと連携したジョブの定義

他部署の処理が完了したら、自部署の処理を実行したい

Q.

各部署が行う伝票処理の完了を目視で確認してから、自部署が担当する経費集計処理を行っています。伝票処理と経費集計処理は別々の部署で行うので、処理(ジョブネット)も別々に定義しています。各処理を連携して定義することはできますか？

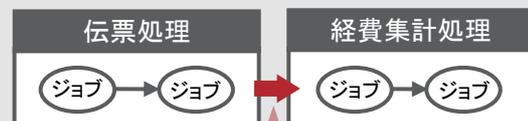
A.

待ち合わせ条件 **用語** を設定すると、他部署の処理と連携し、実行順序を定義できます。

待ち合わせ条件とは？

異なる業務や部署間(ジョブグループ間)のジョブやジョブネット同士をこの条件を使って連携させることで、異なるジョブネットでも順序立てて実行できる機能です。

デフォルトでは、待ち合わせ条件は無効になっています。この機能を使用する場合、環境設定パラメータ—PREWAITUSE で、待ち合わせ条件を有効にしておく必要があります。



「伝票処理」を待ち合わせて
「経費集計処理」を実行



簡単操作が魅力！

シンプルな操作で設定できるので、運用の途中で、急に他部署の処理と連携させる必要が生じた場合も、素早く対応できます。

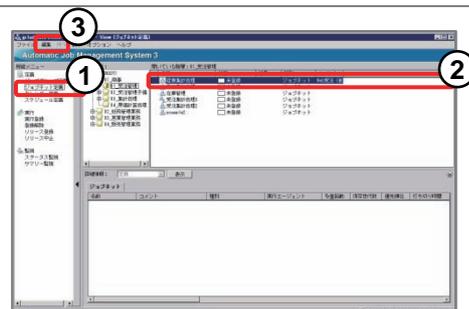
操作の流れを見てみましょう

後続ジョブネット「経費集計処理」で、待ち合わせ条件を設定します。また、待ち合わせ対象として先行ジョブネット「伝票処理」を選択します。

1 [待ち合わせ条件の設定]画面を開きます。

メイン画面で[ジョブネット定義]と(図中①)、後続ジョブネット「経費集計処理」を選択します(図中②)。

[編集]—[待ち合わせ条件の設定]を選択すると(図中③)、[待ち合わせ条件の設定]画面が開きます。



2 待ち合わせ条件を設定します。

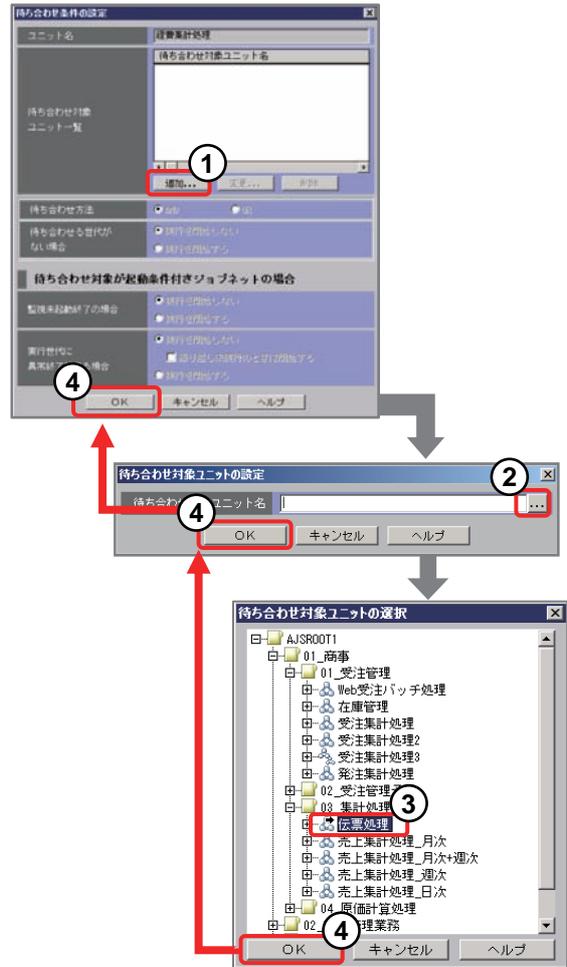
[追加]ボタンをクリックすると(図中①)、[待ち合わせ対象ユニットの設定]画面が開きます。

[...]ボタンをクリックすると(図中②)、[待ち合わせ対象ユニットの選択]画面が開きます。

ツリー一覧から先行ジョブネット「伝票処理」を選択します(図中③)。

各画面の[OK]ボタンをクリックし、順番に画面を閉じます(図中④)。

これで、伝票処理の完了を待ち合わせてから、経費集計処理を開始する設定が完了しました。



●さらに詳しく！

製品マニュアルの参照先

JP1 Version 10 JP1/Automatic Job Management System 3
設計ガイド(業務設計編) (3021-3-104-01)

2.4.8 異なるジョブネットにあるユニット同士の実行順序を制御する(待ち合わせ条件を使ったジョブネットの定義例)

<http://www.hitachi.co.jp/soft/manual/rd/jp1/30213150/AJSG0034.html>



JP1 Version 10 JP1/Automatic Job Management System 3
構築ガイド 1 (3021-3-105-01)

6.1.7 待ち合わせ条件を使用するための設定

<http://www.hitachi.co.jp/soft/manual/rd/jp1/30213150/AJSX0052.html>



JP1 では安心の「ロングライフサポート」を提供しています。
JP1 製品の標準サポート期間は、製品の販売終了から何年でしょうか？

- A. 1年
- B. 3年
- C. 5年

答えは P.42 にあります。

ファイルの作成完了をきっかけに後続ジョブを実行したい

Q.

在庫管理ファイルの作成が完了したら、その内容を伝票に入力する作業があります。ファイル名には日付が含まれていて毎日変わってしまいます。JP1/AJS3 で自動化できますか。

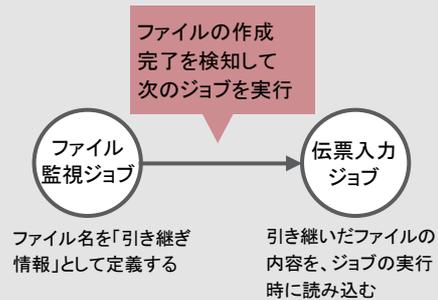
A.

ファイル監視ジョブ **用語** を使えば、ファイルの作成完了をきっかけに、その内容を引き継いで、後続ジョブ(伝票入力ジョブ)を開始できます。また、引き継ぎには変数を使えるので、日付など可変値が入ったファイル名も扱えます。

事象の発生をきっかけにジョブを実行できます

このように「きっかけ待ち」で実行するジョブをイベントジョブ **用語** といいます。きっかけにできる事象には、次のような種類があります。

- ・ファイルの作成・更新・削除(ファイル監視ジョブ、このTipで紹介)
- ・ログファイルの更新(ログファイル監視ジョブ **用語**)
- ・Windowsイベントログの更新(Windowsイベントログ監視ジョブ **用語**)



操作の流れを見てみましょう

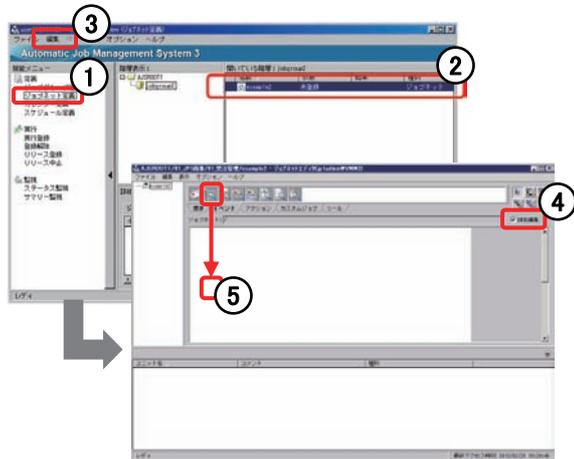
ファイル監視ジョブを作成して、在庫管理ファイルの作成完了を伝票入力ジョブに引き継ぐように定義します。次に、伝票入力ジョブを作成して、在庫管理ファイルのファイル名を伝票へ入力する処理を定義します。どちらのジョブでも、在庫管理ファイル名は変数で定義できます。

1 ファイル監視ジョブを作成します。

メイン画面で[ジョブネット定義]と(図中①)、ジョブネット(図中②)を選択します。

[編集]—[編集]を選択すると(図中③)、[ジョブネットエディタ]画面が開きます。

[排他編集]をチェックして(図中④)、[イベント]タブをドラッグし、定義領域にドロップすると(図中⑤)、[詳細定義—[ファイル監視]]画面が開きます。



2 ファイル監視ジョブの詳細を定義します。

ユニット名にジョブの名称を設定します(図中①)。

監視対象ファイル名を指定し、ファイル作成完了時にファイル名が後続ジョブへ引き継がれるように、次の値を設定します(図中②)。

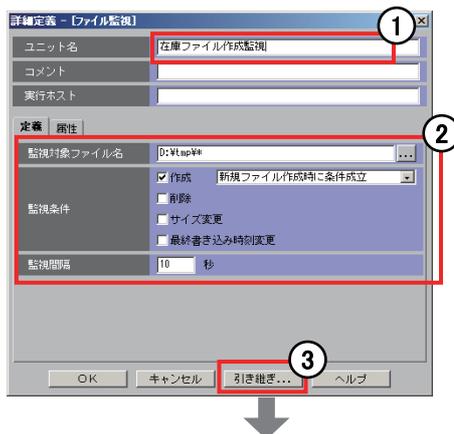
監視条件

作成 新規ファイル作成時に条件成立

監視間隔

10 秒

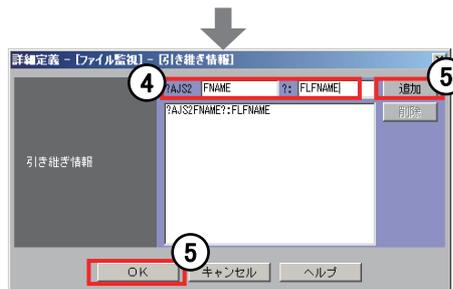
[引き継ぎ]ボタンをクリックすると(図中③)、[詳細定義—[ファイル監視]—[引き継ぎ情報]]画面が開きます。



後続ジョブ(伝票入力ジョブ)に在庫管理ファイルのファイル名を引き継げるよう、次の変数を指定します(図中④)。

?AJS2
FNAME
?:
FLFNAME

[追加]ボタン、各画面の[OK]ボタンの順にクリックすると(図中⑤)、[ジョブネットエディタ]画面に戻ります。

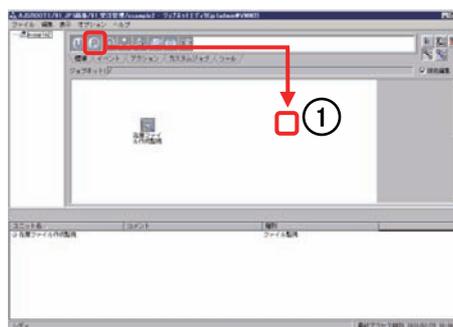


参考 監視対象ファイル名はフルパスで指定します。また、ファイル名が可変の場合、ファイル名にはワイルドカード「*」を設定してください。

3 PCジョブ **用語** (伝票入力ジョブ)を作成します。

[標準]タブで  をドラッグし、定義領域にドロップすると

PC ジョブが作成され(図中①)、[詳細定義-[PC Job]]画面が開きます。



4 PCジョブの詳細を定義します。

ユニット名に PC ジョブの名称を設定します(図中①)。

実行ファイル名を指定し、PC ジョブの実行時に在庫管理ファイルのファイル名が読み込まれるように、次の値を設定します(図中②)。

パラメーター

?AJS2FNAME? (手順 2 で指定した値)

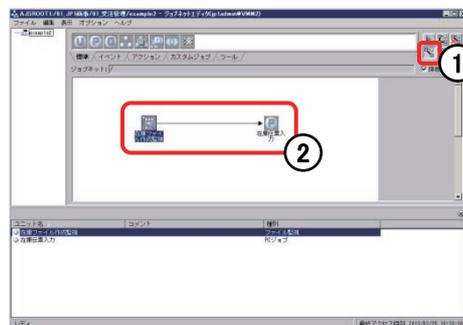
[OK]ボタンをクリックすると(図中③)、[ジョブネットエディタ]画面に戻ります。



5 ファイル監視ジョブとPCジョブを関連線でつなぎます。

 を選択し(図中①)、作成したファイル監視ジョブとPC ジョブをクリックすると関連線が作成されます(図中②)。

これで在庫管理ファイルのファイル名を引き継ぐ設定が完了しました。



●さらに詳しく!

製品マニュアルの参照先

JP1 Version 10 JP1/Automatic Job Management System 3 設計ガイド(業務設計編) (3021-3-104-01)

2.4.4 事象の発生を契機に処理を実行する(イベントジョブを使ったジョブネットの定義例)

<http://www.hitachi.co.jp/soft/manual/rd/jp1/30213150/AJSG0030a.html>



給与支給日を振り替えたら、給与計算日もずらしたい

Q.

毎月、給与支給日の2日前に給与計算をしています。給与支給日は通常25日ですが、休業日が重なった場合は、その前の営業日に振り替えています。給与支給日を振り替えても、必ずその2日前に給与計算を行いたいのですが、良い方法はありませんか？

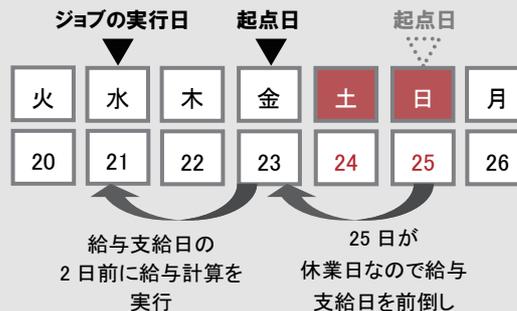
A.

起算スケジュール **用語** で給与計算ジョブの実行スケジュールを設定すると、給与支給日が振り替えになった日数分、給与計算ジョブの実行日をずらすことができます。

起算スケジュールとは？

起点日(給与支給日)から、あらかじめ決めておいた日数を数えてジョブ(給与計算ジョブ)を実行するスケジュール方法です。

このため、給与支給日が25日でなくても、必ず2日前に給与計算を実行できます。



イレギュラーな月も自動で振り替え！

給与支給日など、ジョブの実行の起点日が休業日に重なるケースは、年に何度か予想されます。そのときだけは手動で設定を変えてジョブを実行していた方も、この機能があれば、自動的にジョブの実行日を振り替えられるので便利です。

操作の流れを見てみましょう

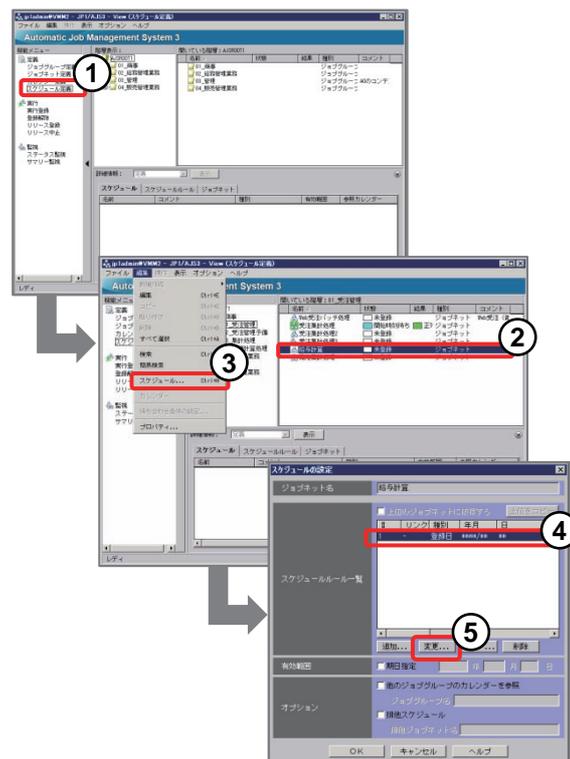
毎月の給与支給日の2日前に給与計算が実行されるように、スケジュールを定義します。

1 [スケジュールルール]画面を開きます。

メイン画面で[スケジュール定義]と(図中①)、ジョブネットを選択します(図中②)。

[編集]—[スケジュール]を選択すると(図中③)、[スケジュールの設定]画面が開きます。

スケジュールルール一覧からスケジュールを選択し(図中④)、[変更]ボタンをクリックすると(図中⑤)、[スケジュールルール]画面が開きます。



2 起点日(給与支給日)を設定します。

毎月 25 日が起点日になるように、種別、開始年月、開始日、開始時刻を設定します。処理サイクルには次の値を設定します。

処理サイクル

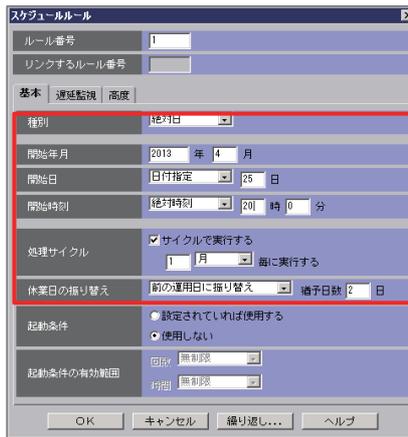
サイクルで実行する

1 月毎に実行する

給与支給日が休業日に重なった場合に前倒しするときは、次の値を設定します。

休業日の振り替え

前の運用日に振り替え



参考 猶予日数には、振り替え先の実行日が休業日だった場合に、さらに実行日を振り替える(ずらす)ことができる期間を設定できます。

3 ジョブの実行予定日を設定します。

[高度]タブで(図中①)、起点日からの日数を設定します(図中②)。

起算スケジュール

起算スケジュール

開始日時から 2 運用日前に実行する

これで、休業日を考慮してジョブを実行する設定が完了しました。



●さらに詳しく！

製品マニュアルの参照先

JP1 Version 10 JP1/Automatic Job Management System 3 導入ガイド (3021-3-102-01)

3.3.2 スケジュール情報の定義

<http://www.hitachi.co.jp/soft/manual/rd/jp1/30213150/AJSF0041.html>



日本特有の「上旬・中旬・下旬」や「五・十日」にもフレキシブルに対応

休業日の振り替えは、「上旬・中旬・下旬」や「五・十日」の設定にも活用できます。

例

上旬(1~10日)・中旬(11~20日)・下旬(21~31日)の最初の営業日に、売上げの集計処理を実行する。実行日が休業日に重なった場合は、翌日に振り替えて実行する。

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

上旬 …1 日に実行

中旬 …11 日に実行

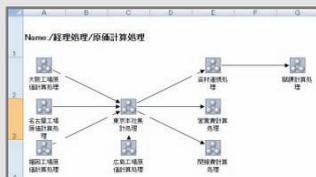
下旬 …21 日を翌日に振り替えて実行

同様に「五・十日」についても、「交通費の精算処理を毎月 5 日と 20 日に実行する。実行日が休業日に重なった場合は、前日に振り替える」というようなスケジュール設定もできます。

画面で見ている定義情報を報告書で使える形式に出力したい

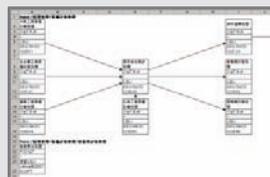
Q. 業務の実行計画や実行結果についての報告書を作成しています。JP1/AJS3の画面を見ながらメモを取ったり、マップをスクリーンショットとして報告書に貼り付けたりしていますが、もっと効率的に作成できないでしょうか？

A. JP1/AJS3 - PO **用語** (オプション製品)を使えば、定義内容や実行結果をマップ、ジョブネットフロー、およびリスト形式で出力できるため、報告書の作成や印刷に便利です。



マップ形式*

ジョブネットの定義内容をアイコンで表示します。ジョブ間の関連がひと目で把握できます。



ジョブネットフロー形式*

フロー図として表示します。ジョブネット名、実行開始日、処理サイクルなどの情報と共に、ジョブネットの流れを把握できます。

リスト形式

定義項目を列に、ジョブネットおよびジョブを行にして表示します。定義内容の詳細を一覧で見るときに便利です。

※マップ形式およびジョブネットフロー形式で出力する場合は、JP1/AJS3 - PO をインストールしているサーバに Microsoft Excel をインストールしてください。



定義を見える化！

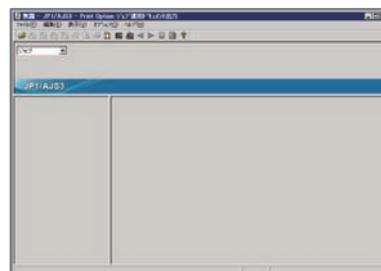
定義ファイルの内容をチェックするときに、ジョブネットの定義内容をビジュアルに確認できます。変更前と変更後の定義内容を突き合わせて確認するときや、運用保守ドキュメントを作成するときなどに便利です。

操作の流れを見てみましょう

JP1/AJS3 - POを起動したら、出力したいジョブネットと、そのジョブネットの出力形式を選択しましょう。ここでは、マップ形式を選択します。

1 JP1/AJS3 - POの[ジョブ運用ドキュメント出力]画面を開きます。

Windows の[スタート]メニューから、[すべてのプログラム] - [JP1_Automatic Job Management System 3 - Print Option] - [ジョブ運用ドキュメントの出力]を選択すると、[ジョブ運用ドキュメント出力]画面が開きます。

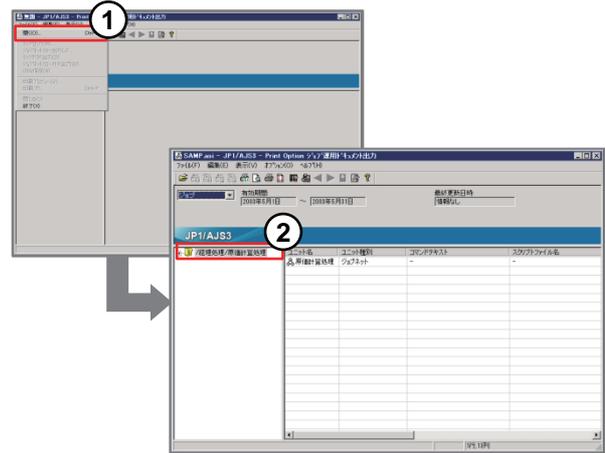


2 出力したいジョブネットを選択します。

[ファイル]－[開く]を選択し(図中①)、ジョブ運用情報ファイルを選択すると、ジョブネットの一覧がツリー形式で表示されます。

定義内容を出力したいジョブネットを選択します(図中②)。

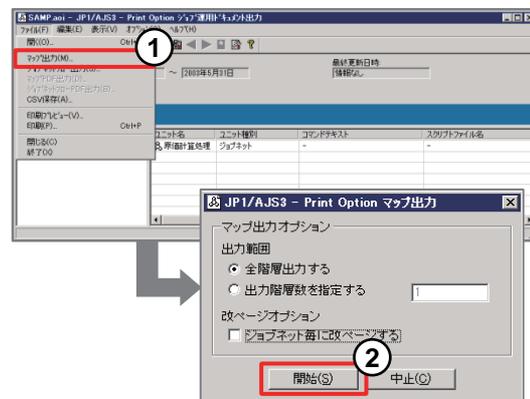
参考 ジョブ運用情報ファイルには、JP1/AJS3 から収集したジョブ運用情報が格納されています。このファイルは、JP1/AJS3 – PO の入力情報となります。



3 定義内容をマップに表示します。

[ファイル]－[マップ出力]を選択すると(図中①)、[マップ出力]画面が開きます。

[開始]ボタンをクリックすると(図中②)、定義内容がマップ形式で表示されます。

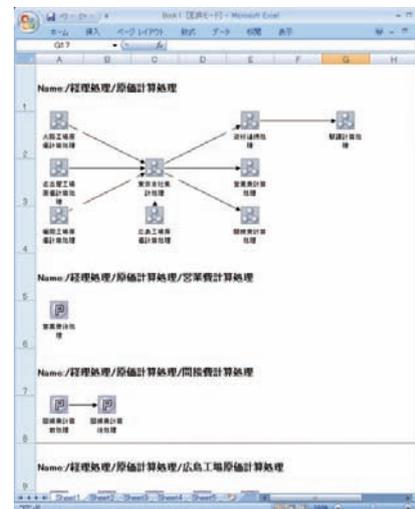


4 出力されたマップで、ジョブネットの定義内容を確認します。

ジョブネットの定義内容が Microsoft Excel 上にマップ形式で表示されます。

参考 Microsoft Excel の印刷機能を使用して印刷することもできます。

これで、ジョブネットの定義内容を確認する操作が完了しました。



●さらに詳しく！

この本の関連ページ

P.36 さらに便利なオプション製品のご紹介

製品マニュアルの参照先

JP1 Version 10 JP1/Automatic Job Management System 3 – Print Option (3021-3-120)

6.8 定義内容をマップ形式で出力する

<http://www.hitachi.co.jp/soft/manual/rd/jp1/30213150/ES160043.html>



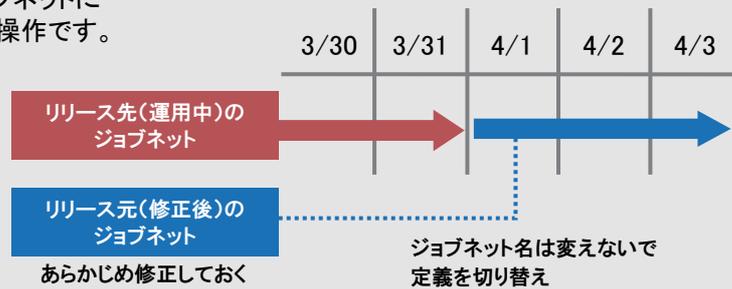
日時を指定し、自動でジョブネットを切り替えたい

Q. ジョブネットの定義を修正し、業務に適用したいと思っています。業務を一度止めないと、修正したジョブネットには切り替えられないでしょうか？

A. 修正後のジョブネットをリリース登録 用語 しておくと、指定した日時に、現在業務で使用しているジョブネットの定義から、修正したジョブネットの定義へ自動で切り替えられます。

リリース登録とは？

あらかじめ修正したジョブネットの定義が、指定した日時に運用中のジョブネットに切り替わるように登録しておく操作です。



自動切り替えで、休日の出社は不要！

リリース登録をしておくことで、業務を止めることなくスムーズに、現在の定義から新しい定義に切り替えられます。JP1/AJS3 が自動でジョブネットの定義を切り替えるため、オペレーターが深夜や休業日に出勤して作業する手間が省けます。

業務の運用中にジョブを修正したい！ ～Tip5 の「リリース登録」と Tip6 の「サスペンド」の違い～

法令改正に伴い、業務の流れを変更しなくてはならない

急な要請で、別処理との連携が必要になってしまった

あ、いけない！ 定義に誤りを発見！

などなど...



ビジネスは常に動いており、運用中のジョブを修正する必要に迫られるのはそう珍しいことではありません。また、このような事態にも迅速に対応できることを、運用管理者は求められています。こうした状況を強力にサポートするため、JP1/AJS3 では、運用中のジョブをスムーズに修正するのに適した機能として、次の 2 つを提供しています。

◆大きめの修正を反映したジョブネットを丸ごと入れ替えるなら

⇒Tip5 の「リリース登録」

法令改正や、年度の変わり目での運用規則変更など、「予定されていた変更を」「あらかじめジョブに反映しておく」「予定の日時にジョブネットごと入れ替える」といった場合に向きます。予定の日時にジョブネットが自動で入れ替えられるので、ジョブネットを大幅に修正しても一括で業務へ反映できます。

◆ちょっとした修正をさっと反映するなら

⇒Tip6 の「サスペンド」

急な処理変更や、ちょっとした誤りの訂正など、「不意に発生した変更を」「その場でジョブに反映し」「すぐに業務にも反映する」といった場合に向きます。操作は手動で、ジョブネットを一時的にサスペンド(保留)にし、その間にジョブを修正、済んだらサスペンドを解除するという流れです。

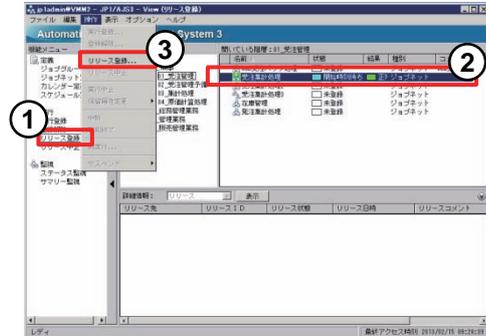
操作の流れを見てみましょう

修正したジョブネットを選択し、リリース先のジョブネット(運用中のジョブネット)やリリース日時を設定しましょう。

1 [リリース登録]画面を開きます。

メイン画面で[リリース登録]と(図中①)、リリース元(切り替え予定)のジョブネットを選択します(図中②)。

[操作] - [リリース登録]を選択すると(図中③)、[リリース登録]画面が開きます。



2 リリース登録に必要な情報を設定します。

リリース先、リリース ID、リリース日時などを指定します。

リリース先

[...] ボタンをクリックして、リリース先(運用中)のジョブネットをツリーから選択します。

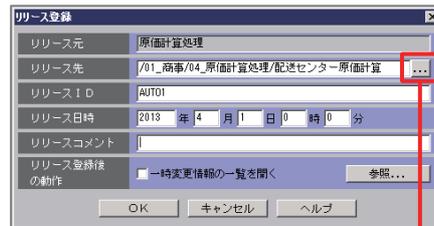
リリースID

ジョブネットの業務内容や定義の変更内容がわかるように指定します。

リリース日時

修正後のジョブネットの定義へ切り替える日時を指定します。

これで、修正後のジョブネットの定義に自動で切り替える設定が完了しました。



●さらに詳しく!

製品マニュアルの参照先

JP1 Version 10 JP1/Automatic Job Management System 3 運用ガイド (3021-3-107-01)

8.3.8 ジョブネットリリース機能の運用方法

<http://www.hitachi.co.jp/soft/manual/rd/jp1/30213150/AJSJ0083.html>



JP1 では、技術レベルに応じた研修・認定制度を用意しています。JP1 の一定以上のスキルを有する技術者を日立が認定する制度として、実際にある資格は次のうちどれでしょうか？

- A. JP1 スペシャリスト
- B. JP1 認定エンジニア
- C. JP1 検定初級

答えは P.42 にあります。

実行中の業務を止めないでジョブの定義を修正したい

Q.

実行登録した運用中のジョブネットに、修正したい個所を見つけてしまいました。ジョブを1つ追加したいだけなので、すぐに修正作業は終わるのですが、実行登録を解除して一度運用を止めないといけませんか？

A.

実行登録し、すでに運用を始めたジョブネットでも、サスペンド **用語** すれば、ジョブネットの実行登録を解除しないでジョブを追加できます。

サスペンドとは？

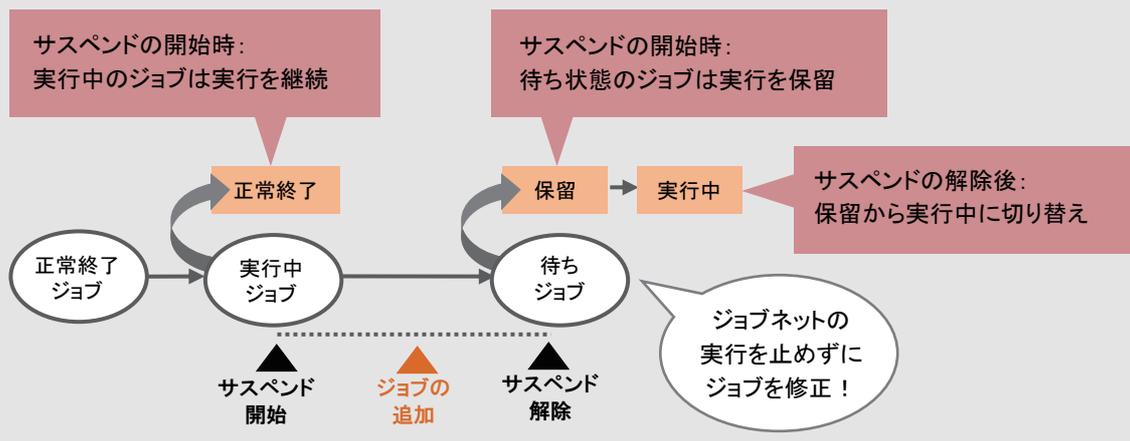
ジョブネットをサスペンドすると、ジョブネットの実行登録を解除しないで、定義を変更できます。サスペンド中は、実行中のジョブだけが実行され、その後の処理は保留になります。

デフォルトでは、ジョブネットに対してサスペンドできない設定になっています。この機能を使用する場合、-m オプションを指定した ajssetup コマンドで、サスペンドを有効にしておく必要があります。

ちょっとしたジョブの修正に便利！

実行登録を解除すると、ジョブネット全体の運用が止まってしまう。ジョブネットをサスペンドすると、運用を止めずにジョブを修正できるので、すぐに終わるようなジョブの修正に便利です。

★ **ここが嬉しい!**



操作の流れを見てみましょう

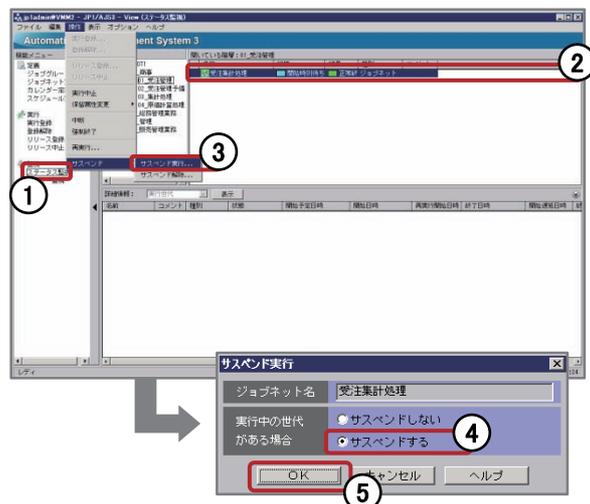
ジョブネットをサスペンドしてジョブを追加したあと、サスペンドを解除して修正したジョブネットの定義を反映します。

1 ジョブネットをサスペンドします。

メイン画面で[ステータス監視]と(図中①)、サスペンドしたいジョブネットを選択します(図中②)。

[操作] - [サスペンド] - [サスペンド実行]を選択すると(図中③)、[サスペンド実行]画面が開きます。

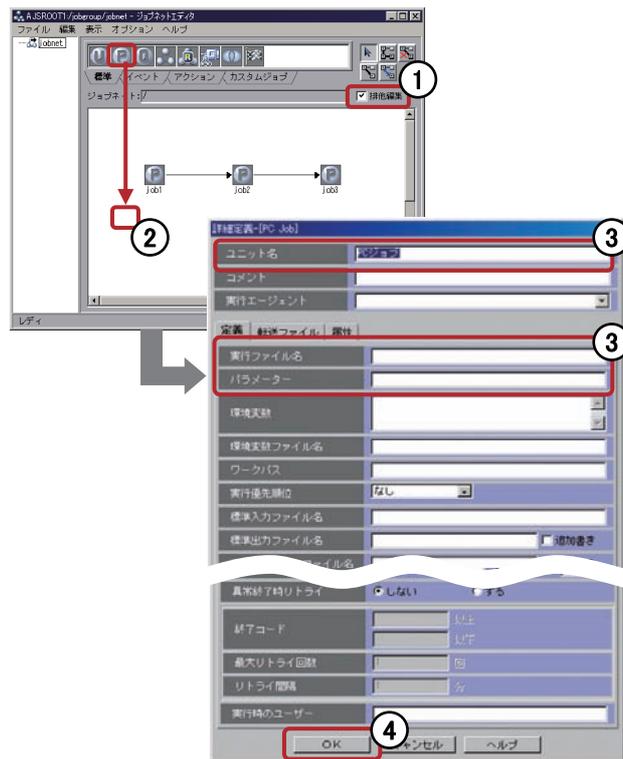
[サスペンドする]を選択し(図中④)、[OK]ボタンをクリックします(図中⑤)。



2 PCジョブ(追加するジョブ)を追加します。

[排他編集]をチェックして(図中①)、[標準]タブで **P** をドラッグし、定義領域にドロップすると(図中②)、[詳細定義-[PC Job]]画面が開きます。

ユニット名にPCジョブの名称を、また、**実行ファイル名**、**パラメーター**を入力し(図中③)、[OK]ボタンをクリックします(図中④)。

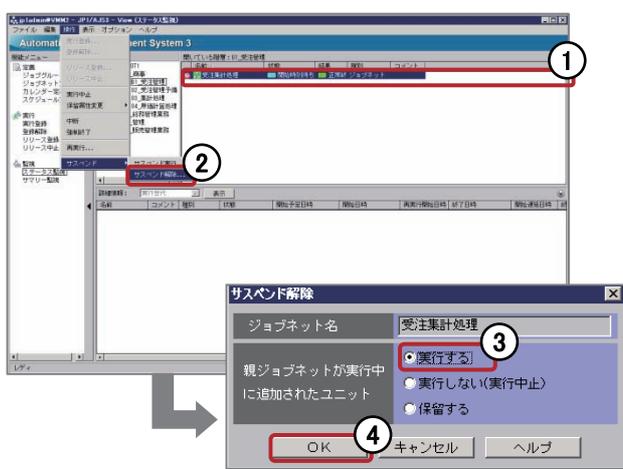


3 サスペンド状態を解除します。

サスペンド中のジョブネットを選択し(図中①)、[操作]-[サスペンド]-[サスペンド解除]を選択すると(図中②)、[サスペンド解除]画面が開きます。

[実行する]を選択し(図中③)、[OK]ボタンをクリックします(図中④)。

これで、実行登録中にジョブの定義を修正する操作が完了しました。



目的のジョブが今まさに実行中・・・このようなジョブも、サスペンドして修正できるの？

これは修正の内容によって異なります。

例えば、そのジョブを削除したり、ユニット名称を変更したりはできません。逆に、ユニット間をつなぐ関連線の追加/削除や、ユニットに付けたコメントの変更であれば、実行中のジョブに対しても修正できます。

サスペンド中にできる修正範囲の詳細については、製品マニュアルの参照先をご覧ください。

●さらに詳しく！

この本の関連ページ

P.11 Step2 ジョブの実行

製品マニュアルの参照先

JP1 Version 10 JP1/Automatic Job Management System 3 導入ガイド (3021-3-102-01)

4.5.17 ジョブネットの実行登録を解除しないでジョブネットやジョブの定義を変更する

<http://www.hitachi.co.jp/soft/manual/rd/jp1/30213150/AJSF0083.html>



基本

TIPS

新機能

オプション製品

用語解説

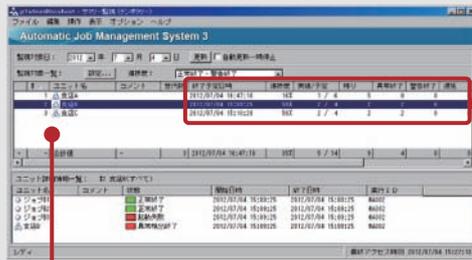
複数の業務の進捗度や実行状況を1つの画面で監視したい

Q.

「人事処理」や「経理処理」のように、業務ごとにジョブグループを作成して、ジョブネットを実行しています。それぞれの業務の進捗を別々の画面で確認しているため、遅延を見落とすしてしまふことがあります。複数のジョブグループに分かれているジョブネットを、一度に確認できないでしょうか？

A.

[サマリー監視]画面で、表示させるジョブネットを設定すれば、複数のジョブグループに分かれているジョブネットを一覧表示して確認できます。



複数のジョブグループに分かれている
ジョブネットをまとめて表示

終了予定日時	進捗度	実績/予定	残り	異常終了	警告終了	遅延
2012/07/04 18:47:10	16%	1 / 6	5	0	0	0
2012/07/04 15:08:25	50%	2 / 4	2	2	0	0
2012/07/04 15:10:28	50%	2 / 4	2	2	0	0

それぞれのジョブネットの終了予定日時や進捗度を表示



状況をひと目で把握できます

- 複数の画面を開かなくても、ジョブネットの実行状況をまとめて監視できます。
- 終了予定日時や進捗度、残りのジョブネット数などが一覧で表示されるので、業務が滞りなく実行されているか、遅延しそうな業務はないかが素早く確認できます。

操作の流れを見てみましょう

[サマリー監視]画面で、一覧表示させたいジョブネットを選択しましょう。

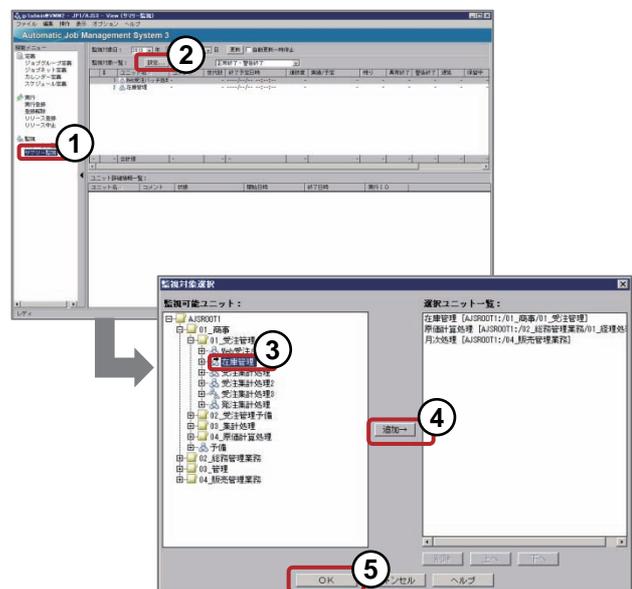
1 一覧表示したいジョブネットを選択します。

メイン画面で[サマリー監視]を選択し(図中①)、[設定]ボタンをクリックすると(図中②)、[監視対象選択]画面が開きます。

監視可能ユニットから、表示したいジョブネットを選択します(図中③)。

[追加]ボタンをクリックすると(図中④)、選択ユニット一覧にジョブネットが追加されます。

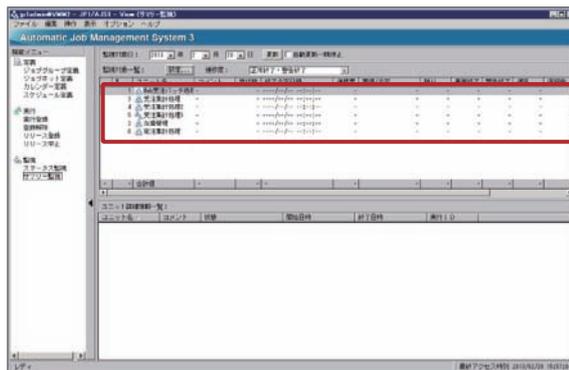
[OK]ボタンをクリックすると(図中⑤)、[サマリー監視]画面に戻ります。



2 目的のジョブネットが一覧表示できたことを確認します。

[サマリー監視]画面に、選択したジョブネットの一覧が表示されていることを確認します。

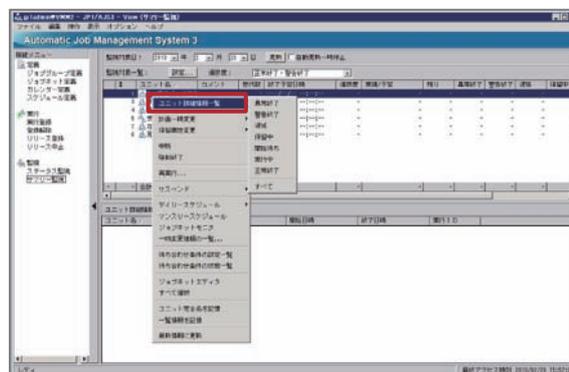
これで、複数のジョブグループに分かれているジョブネットを表示する操作が完了しました。



特定の状態のジョブネットだけを絞り込んで表示することも！

ユニット詳細情報一覧には、監視対象一覧で選択したユニットの配下にあるジョブやジョブネットを表示できます。

ジョブネットを右クリックし、[ユニット詳細情報一覧]から、表示させたい状態(異常終了、遅延、保留中、実行中など)を選択すると、特定の状態のジョブネットやジョブだけを絞り込んで表示できます。例えば、異常終了したジョブネットだけを確認したいときに便利です。



- さらに詳しく！
- この本の関連ページ
- P.12 Step3 ジョブの監視

製品マニュアルの参照先

JP1 Version 10 JP1/Automatic Job Management System 3 操作ガイド (3021-3-109-01)

8.3 進行状況を監視する

<http://www.hitachi.co.jp/soft/manual/rd/jp1/30213150/AJSV0062.html>



JP1 製品は発売以来、実績と信頼を積み重ねて、社会を支えてきました。
JP1 製品が初めて販売されたのはいつでしょうか？

- A. 1988 年
- B. 1994 年
- C. 2002 年

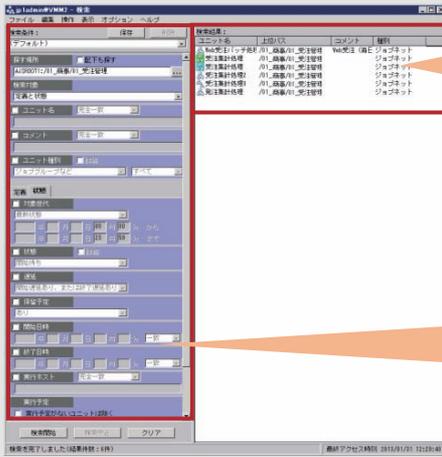
答えは P.42 にあります。

障害が起こった業務サーバ内の業務を保留にしたい

Q. 業務サーバに障害が起こりました。障害が回復するまで、業務サーバ内で実行予定のジョブは保留状態にしたいです。今すぐ対処したいのですが、良い方法がありますか？

A. 「検索」機能を使えば、ジョブやジョブネットの状態、実行先サーバなど、設定した条件で業務を検索できます。

検索結果の一覧から、定義を修正する画面を開くこともできるため、ジョブの状態を保留に変更する対処もすぐにできます。



クリックすれば、すぐに状況の把握、修正ができる

検索結果に表示されたジョブやジョブネットをダブルクリックすれば、実行状況が把握できる[ジョブネットモニタ]画面や、定義が修正できる[ジョブネットエディタ]画面に遷移するので、作業時間が短縮できます。

細かい条件設定で、すぐに絞り込める

ジョブ、ジョブネットといったユニット名はもちろん、実行ファイルや実行エージェント、開始日時/終了日時など、細かく条件を設定できるので、探したい業務をすぐに絞り込めます。同件のジョブを洗い出したいときにも便利です。

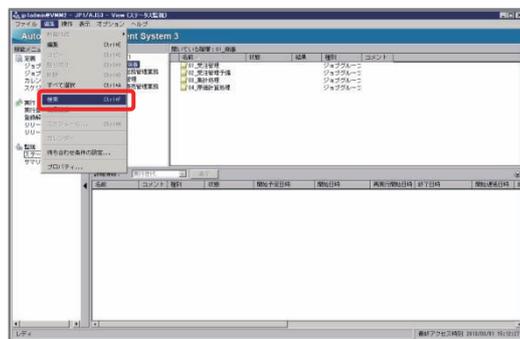
一度指定した条件は保存して、次回以降の入力を省略よく検索する条件は保存しておく、入力作業の手間が省け、スペルミスなども防げます。

操作の流れを見てみましょう

障害が発生した業務サーバ内のジョブネットを検索したあと、ジョブネットの状態を保留に切り替えます。また、障害が回復したら、ジョブを再開するために保留を解除しましょう。

1 [検索]画面を開きます。

メイン画面で[編集] - [検索]を選択すると、[検索]画面が開きます。



2 検索条件を指定します。

検索条件を指定します(図中①)。障害が発生したサーバで、実行予定のあるユニットを検索するには、次の値を指定してください。

探す場所 : 配下も探す : 検索対象のユニット

検索対象 : 定義と状態

ユニット種別 : ルートジョブネットなど

[定義]タブ

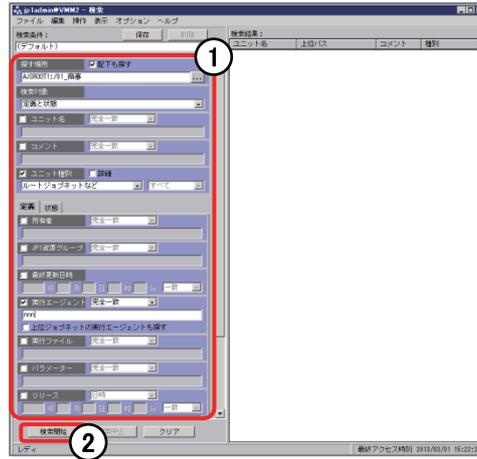
実行エージェント : 検索したいサーバの実行エージェント名

[状態]タブ

対象世代 : 最新状態

状態 : 開始待ち

値を指定したら[検索開始]ボタンをクリックします(図中②)。

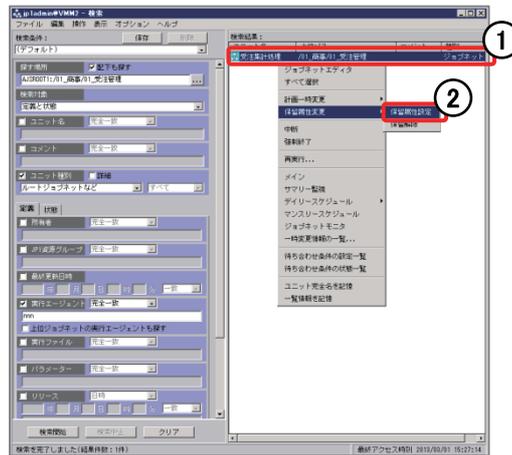


3 実行予定のジョブネットを保留にします。

検索結果に表示されたジョブネットを右クリックし(図中①)、[保留属性変更] - [保留属性設定]を選択します(図中②)。

これでジョブネットを保留にできました。

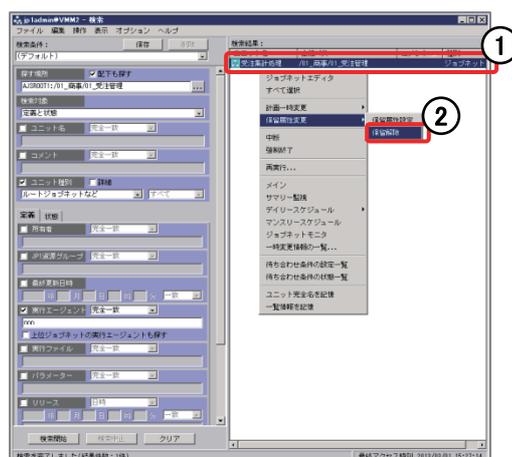
この画面は開いたままにしておいて、障害に対応します。



4 障害から回復したあと、ジョブネットの保留を解除します。

検索結果に表示されたジョブネットを右クリックし(図中①)、[保留属性変更] - [保留解除]を選択します(図中②)。

これで、ジョブネットの保留を解除する操作が完了しました。



●さらに詳しく！

製品マニュアルの参照先

JP1 Version 10 JP1/Automatic Job Management System 3 操作ガイド (3021-3-109-01)

10.2 ユニートを検索して表示する

<http://www.hitachi.co.jp/soft/manual/rd/jp1/30213150/AJSV0096.html>



もう、ジョブの定義や実行でつまづかない！

実行エージェントを活用してスマートにジョブ管理

実行エージェント 用語とは、ジョブの実行先として指定する任意の名称のことです。この機能を使うと、ジョブの定義や実行での入力ミスを防止できるようになります。ここでは、「実行エージェント」が活躍する2つの場面について紹介します。

環境移行編



ど、…どうして！？

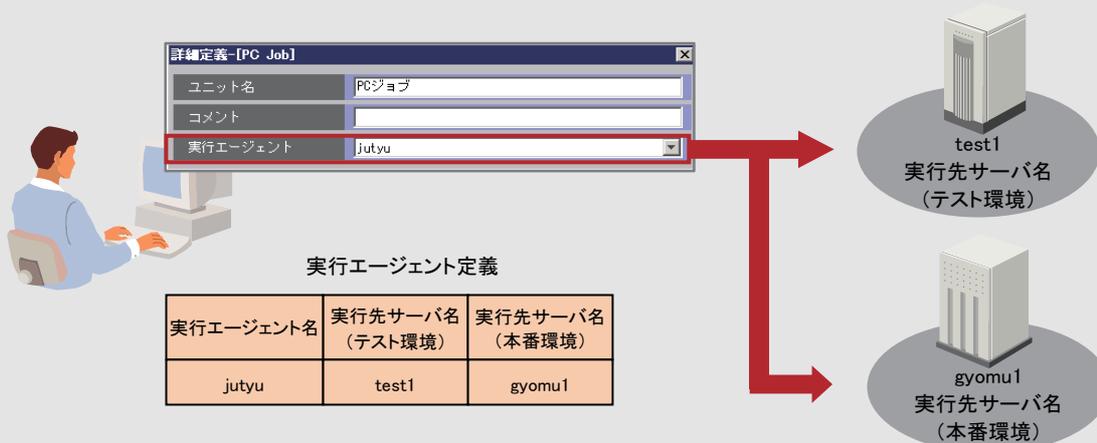
テスト環境ではジョブは正常に実行できたのに、本番環境に移行した途端、エラーが出てしまった…。本番環境用のサーバ名を間違えて定義してしまったのかも。どこが間違っているのか見直すのが大変そう…。

JP1/AJS3では、ジョブの実行先を実行エージェントという任意の名称で管理しているの。だから、テスト環境と本番環境のように、**実行先のサーバが異なっても**、実行エージェント名を実行先サーバと関連づけるだけで、**ジョブの実行先の定義を変更せずに**、スムーズに環境を移行できちゃうのよ！



実行エージェント機能を使って、ラクラク環境移行！

実行エージェント定義で、実行エージェントと実行先サーバをあらかじめ関連づけておけば、ジョブの実行先の定義は、実行エージェントで設定できるようになります。そのため、異なるサーバでも、実行エージェントが同じであれば、ジョブの実行先の定義を変更する手間が省けます。



実行エージェントを定義すれば、ジョブの実行先の定義を変更しなくても、環境移行できる♪



ジョブの実行先の定義の変更に伴う、入力ミスがなくなるから、ラクラク環境移行！

テナント運用編



あぶないっ！！

担当外のサーバに対してジョブを実行してしまうところだった。
 1つのサーバで複数のシステムを運用しているから、ジョブの実行先サーバの定義に誤りがないかいつも不安…。
 それに、サーバ名を手動で直接入力すると、**入力ミス**もしやすいんだよな。
何かいい方法はないかな？

そんなの簡単だよ。

実行エージェント制限機能 **用語** を使えば、
 左ページで説明した実行エージェントをプルダウンメニューとして事前に登録できるの。

担当する業務システムの実行エージェントだけをプルダウンメニューから選択できるように設定できるのよ。

それに、誤ったサーバを直接入力した場合も、エラーとすることができるしね。



実行エージェント制限機能を使って、安心実行！

実行エージェント制限機能を使うことで、担当者ごとにジョブを実行できるサーバを制限できます。そのため、誤ったサーバにジョブを実行することを防止できます。また、サーバはプルダウンメニューから選択できるので、入力ミスも防止できます。

実行エージェントプロファイル
 (許可するエージェント)
 KeiriSrv010、KeiriSrv020

詳細定義 - [ジョブネット]	
ユニット名	ジョブネット
コメント	
実行エージェント	

KeiriSrv010
KeiriSrv020

経理システム担当の運用管理者

実行エージェントプロファイル
 (許可するエージェント)
 EigyoSrv001、EigyoSrv002、EigyoSrv003

詳細定義 - [ジョブネット]	
ユニット名	ジョブネット
コメント	
実行エージェント	

EigyoSrv001
EigyoSrv002
EigyoSrv003

営業システム担当の運用管理者

許可されているサーバを選択するだけで、
 ジョブネットを簡単に実行できる♪



担当外のサーバに対して、
 ジョブネットを実行する心配がない！

基本

TIPS

新機能

オプション製品

用語解説

JP1/AJS3 Version 10 新機能のご紹介

JP1/AJS3 の最新バージョン「Version 10」は、主に4つの機能が強化され、さらに使いやすくなりました。そのポイントを Before・After の形式でご紹介します。

新機能1

JP1/AJS3 単体でのメール送信ジョブ定義を実現

JP1/AJS3だけでメールを送信できるようになりました

前提：「メール送信ジョブ」は、こんなときに使います

JP1/AJS3 ではジョブとしてメールを送信できます。例えば、「ジョブが異常終了したときに、管理者へメールで通知する」、「ジョブネット中のジョブがすべて終了したらメールを送信する」、「ジョブとして給与明細をメールに添付して送信する」などの場面で利用できます。

Before ジョブとしてメールを送信するとき、Microsoft Outlookが必要でした。

Windows 環境の場合、ジョブとしてメールを送信するためには、Microsoft Outlook が必要でした。

社内のルール上、
Microsoft Outlookを導入できないから、
メールは送信できない…



After JP1/AJS3からメールを直接送信できるように！

JP1/AJS3 だけで、メールをメールサーバに直接送信できるようになりました。また、メール送信時に、OS へのログオンも不要になります。



Microsoft Outlook を使用しなくてもメールを送信できるようになったため、Microsoft Outlook の導入費を削減できます。JP1/AJS3 のためだけに Microsoft Outlook を導入したくない場合や、社内のルールで Microsoft Outlook を導入できない場合でも、JP1/AJS3 のジョブとしてメールを送信できます。

従来どおり、Microsoft Outlook と連携してメールを送信することもできます。また、この機能とは別の「メール受信監視ジョブ(メール受信を契機にジョブを実行する機能)」を使用する場合は、従来どおり Microsoft Outlook が必要です。

●さらに詳しく！

製品マニュアルの参照先

JP1 Version 10 JP1/Automatic Job Management System 3 連携ガイド (3021-3-112-01)

2.1.3 メール送信の概要

<http://www.hitachi.co.jp/soft/manual/rd/jp1/30213150/AJSL0011.html>



新機能2

判定ジョブ定義の簡略化

判定時の値を範囲指定できるようになりました

前提: 「判定ジョブ」は、こんなときに使います

先行するジョブの実行結果に応じて、実行するジョブを変更できます。例えば、「在庫チェックジョブの実行結果を判定して、在庫数が不足気味の場合は発注伝票を作成し、在庫数に問題がなければ受注伝票を作成する」という処理を実現できます。

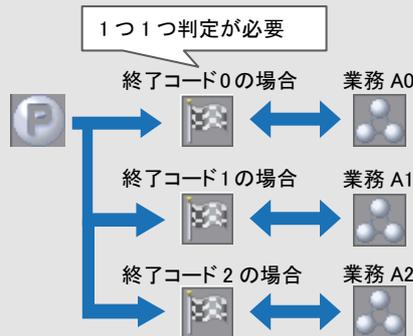
Before

1回の判定につき、1つの値しか判定できませんでした。

判定の結果を受けて、次に実行するジョブを変更する場合、1回の判定につき1つの値だけを定義する必要がありました。

例えば、終了コードが「0~2」の場合に業務 A を実行したいとき、終了コード「0、1、2」を1つずつ判定して、後続の業務「A0、A1、A2」を実行するように定義していました。

終了コードが「0~2」の場合に業務 A を実行したいとき



1つずつ判定を定義すると
ジョブネットが複雑になる。
まとめられないかな…

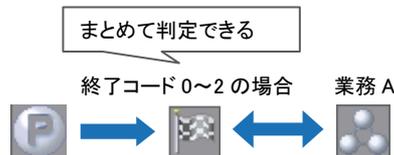


After

値を範囲指定して判定できるよう！

範囲指定することで、複数の値をまとめて判定できるようになりました。

例えば、終了コードが「0~2」というように、条件を範囲で指定して、業務 A を実行するように設定できます。



複数の値をまとめて判定できるため、分岐や後続のジョブネットがすっきりして、見目がわかりやすくなります。また、後続のジョブネットが少なくなるため、メンテナンスが容易になります。

※終了コードが「1、3、5」のように連続しない場合や、「-1~1」のように、0をまたぐ場合の範囲指定はできません

●さらに詳しく！

製品マニュアルの参照先

JP1 Version 10 JP1/Automatic Job Management System 3 設計ガイド(業務設計編) (3021-3-104-01)

2.4.3 先行ジョブの結果でそのあとの処理を動的に変える(判定ジョブを使ったジョブネットの定義例)

<http://www.hitachi.co.jp/soft/manual/rd/jp1/30213150/AJSG0029.html>



基本

Tips

新機能

オプション製品

用語解説

新機能3

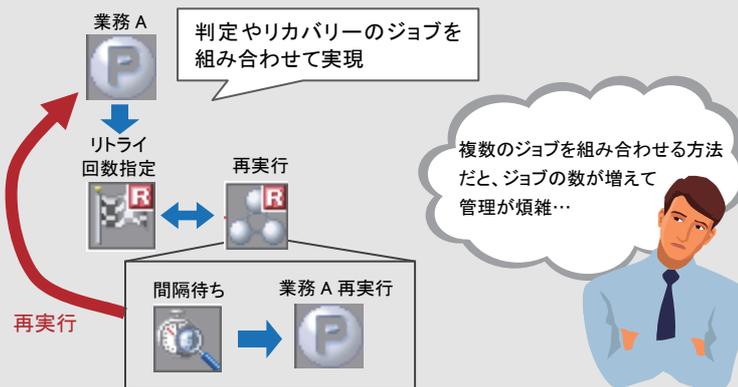
ジョブ異常終了時の自動リトライ定義が容易になりました

前提: 「自動リトライ」は、こんなときに使います

一度ジョブが異常終了しても、リトライするだけで、一時的なエラーが回復し、成功する場合があります。リトライによって回復できるジョブに対応するため、ジョブの異常終了時に自動的にジョブをリトライするように定義しておくことで、ジョブに一時的なエラーが発生しても業務を継続できます。

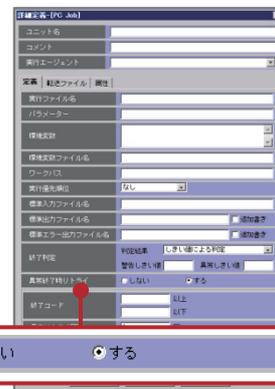
Before 複数のジョブを組み合わせて、リトライを定義する必要がありました。

ジョブが異常終了したときに自動でリトライするには、判定やリカバリーのジョブを組み合わせて、複雑なジョブネットを定義する必要がありました。



After 「自動リトライ」を選ぶだけで簡単に設定できるように！

ジョブを定義するときに、「異常終了時リトライ」を「する」に設定するだけで、自動的にリトライできます。最大リトライ回数やリトライ間隔も指定できます。



ジョブが異常終了したときに自動リトライする設定が簡単になりました。また、ジョブを組み合わせて定義する方法と異なり、JP1/AJS3 – View でリトライ実行回数やリトライ状態をすぐに確認できます。

●さらに詳しく！

製品マニュアルの参照先

JP1 Version 10 JP1/Automatic Job Management System 3 設計ガイド(業務設計編) (3021-3-104-01)

2.4.10 ジョブの異常終了時に自動でリトライする

<http://www.hitachi.co.jp/soft/manual/rd/jp1/30213150/AJSG0036.html>



新機能4

繰り返し実行ジョブの簡略化

ジョブネットの繰り返しの設定が簡単になりました

前提: 「ジョブネットの繰り返し」は、こんなときに使います

ジョブネットに繰り返しを適用すると、同じ業務を一定間隔で実行するスケジュールをまとめて定義できます。データの集計や在庫の確認など、ジョブネットを一定の間隔で繰り返したいときに便利です。

Before スケジュールを間隔ごとに複数設定していました。

例えば、12:00 から 10 分ごとにジョブネットを 5 回実行したい場合、12:00、12:10、12:20...と、複数のスケジュールを設定する必要がありました。

スケジュール 1 スケジュール 2 スケジュール 3 スケジュール 4 スケジュール 5 スケジュール 6



繰り返しの回数分だけ
スケジュールを設定
しなくてはならない...

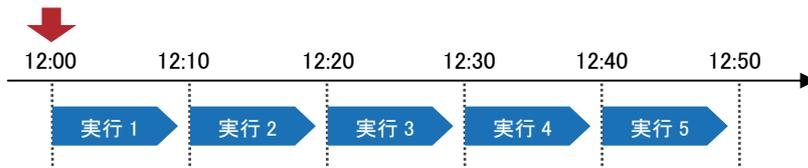


After ジョブネットの繰り返しが直感的に設定できるように！

JP1 Version 9.5 から、一定間隔でジョブネットを繰り返す場合に、スケジュールをまとめて定義できるようになりました。また、JP1 Version 10 では、起動条件付きジョブネットでも繰り返し実行する場合に、直感的に開始時刻を設定できるようになっています。

開始時刻: 12:00
繰り返しの回数: 5 回
実行間隔: 10 分

スケジュール 1



スケジュールを定義するときに、
繰り返しを設定



繰り返して実行するためのスケジュールをまとめて設定できるようになったため、複数のスケジュールを作成する手間が省けます。また、JP1 Version 10 からは、起動条件付きジョブネットでも繰り返し実行する場合に、ジョブネットの待ち時間を考慮しないで、開始時刻を設定できるようになりました。直感的に定義できるため、定義ミスの低減に繋がります。

●さらに詳しく！

製品マニュアルの参照先

JP1 Version 10 JP1/Automatic Job Management System 3 設計ガイド(業務設計編) (3021-3-104-01)

2.4.4 事象の発生を契機に処理を実行する(イベントジョブを使ったジョブネットの定義例)

(5) 時間の経過を監視して処理を実行する(実行間隔制御ジョブ)

<http://www.hitachi.co.jp/soft/manual/rd/jp1/30213150/AJSG0030b.html>



基本

Tips

新機能

オプション製品

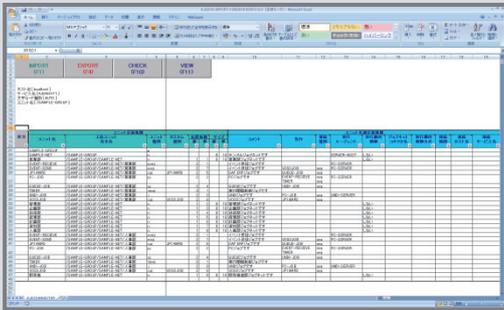
用語解説

さらに便利なオプション製品のご紹介

オプション製品を組み合わせれば、JP1/AJS3 をさらに便利に使用できます。必要に応じてご利用ください。

JP1/AJS3 - DA 用語 (JP1/Automatic Job Management System 3 - Definition Assistant)

大量の業務の定義を一括で行いたい



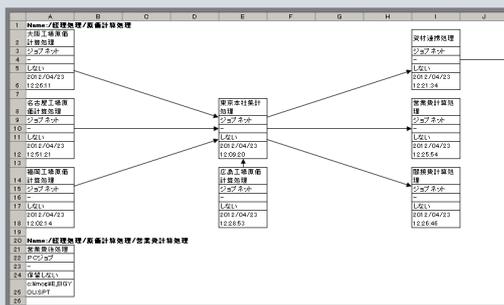
編集用のテンプレートを Microsoft Excel へ出力し、ジョブやジョブネットの定義を編集(作成、変更、削除)できます。コピー、貼り付け、検索、置換といった Microsoft Excel のコマンドを使いながら編集できるため、効率良く開発や運用が行えます。



サーバの移行時やバージョンアップ時など、ジョブやジョブネットの定義の編集が大量に必要なときに効果を発揮します。

JP1/AJS3 - PO (JP1/Automatic Job Management System 3 - Print Option)

業務の運用・保守に必要なドキュメントを簡単に作成・印刷したい



ジョブネットのスケジュール情報、定義情報、実行予実績情報などを印刷に適したレイアウトで出力できます。日々の保守や設定確認など、用途に応じたフォーマットを選択し、Microsoft Excel、PDF、CSV 形式で出力できます。



業務の運用報告書を作成したり、多数のジョブネットの修正結果を紙面で確認したりするなど、ジョブネットの情報をドキュメントで確認したいときに効果を発揮します。

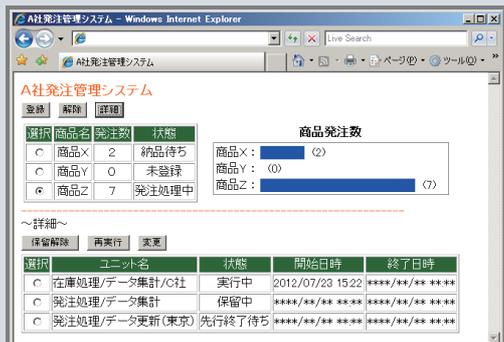
※JP1/AJS3 - PO は、次の 2 つのプログラムで構成されています。

- ・JP1/AJS3 - Print Option Manager License (JP1/AJS3 からジョブ運用情報を収集するプログラム)
- ・JP1/AJS3 - Print Option (JP1/AJS3 - Print Option Manager License で収集したジョブ運用情報をドキュメントとして出力するプログラム)

JP1 Version 10 新製品

JP1/AJS3 - SDK 用語 (JP1/Automatic Job Management System 3 - Software Development Kit)

現場の運用に合わせた画面を、Webブラウザから操作したい



ジョブネットの登録や監視・操作を行うアプリケーションを独自に作成できます。専用の API を提供するので、1 から作成する場合に比べて、容易に開発できます。

Web ブラウザー上で、メニューや情報を自由に表現でき、よく使う機能に絞りこむこともできるため、きめ細かくカスタマイズできます。



お客様の業務にピッタリの画面が作成できるので、操作の効率が向上します。また、人為ミスの低減にも効果を発揮します。

JP1/AJS3 - UJO 用語

(JP1/Automatic Job Management System 3 - User Job Operation)

業務の担当者自身が特定の業務を、親しみやすい画面で操作したい



業務担当者が運用管理者に業務の実行を依頼しなくても、親しみやすいインタフェースで、必要なときにタイムリーに実行できます。また、担当業務の状態(正常・異常)も運用管理者への問い合わせが不要。業務担当者自身がいつでも状態を把握できます。

こんなときに! JP1/AJS3 に慣れていない現場担当者向けに、自分の業務に関する操作環境だけを提供したいときに効果を発揮します。

JP1/AJS3 - WOA 用語

(JP1/Automatic Job Management System 3 - Web Operation Assistant)

場所を問わずに、複数サーバの業務を一括監視・操作したい



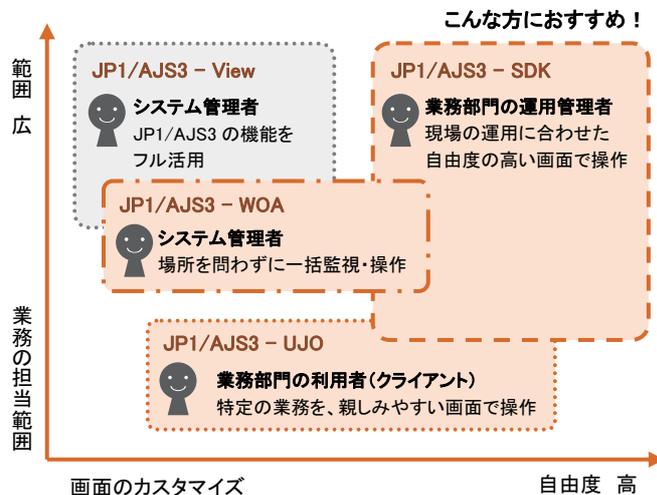
複数のサーバでそれぞれ運用している JP1/AJS3 の業務をまとめて表示し、監視できます。フィルタリング機能で探したいジョブを検索することもでき、ジョブの実行や中止といった操作も行えます。幅広い業務の中から必要な業務をピックアップし、Web ブラウザ上から監視したり、操作したりできます。

こんなときに! 複数の拠点に散在するサーバで運用中の業務を、1 拠点から俯瞰的に把握したいときに便利です。

JP1/AJS3 - SDK と JP1/AJS3 - UJO と JP1/AJS3 - WOA って、どのように使い分けるの？

お客様の運用にフィットした画面で、もっと快適なジョブ管理をお手伝いします。

ここで紹介した JP1/AJS3 - SDK、JP1/AJS3 - UJO、JP1/AJS3 - WOA は、お客様の運用形態に合わせて JP1/AJS3 - View をカスタマイズできる製品です。誰がどの範囲の業務を担当するのか、担当者が JP1/AJS3 にどのくらい慣れているのかは、お客様の環境によってさまざまです。実現したい運用形態に応じて最適なオプション製品を選択しましょう。



基本

TIPS

新機能

オプション製品

用語解説

JP1/DH 用語 (JP1/Data Highway)

大容量データをインターネット経由で高速かつ安全に転送したい



「大容量」「高速」「高品質」の3つを備えたデータ転送を行えます。数ギガバイトにもおよぶ大容量データでも、HTTPS によるセキュアな通信で高速に転送できます。インターネット回線と Web ブラウザーを利用し、既存のネットワーク機器を変更する必要もないので、導入コストも抑えられます。万一、データ転送に失敗しても、失敗した部分だけを自動で再送するので、高品質なデータ転送が可能です。決められた宛先以外にはデータを送信できないようにしたり、「いつ」「誰が」「誰に」「何を」送受信したかを記録したりできるので、安全性も確保できます。



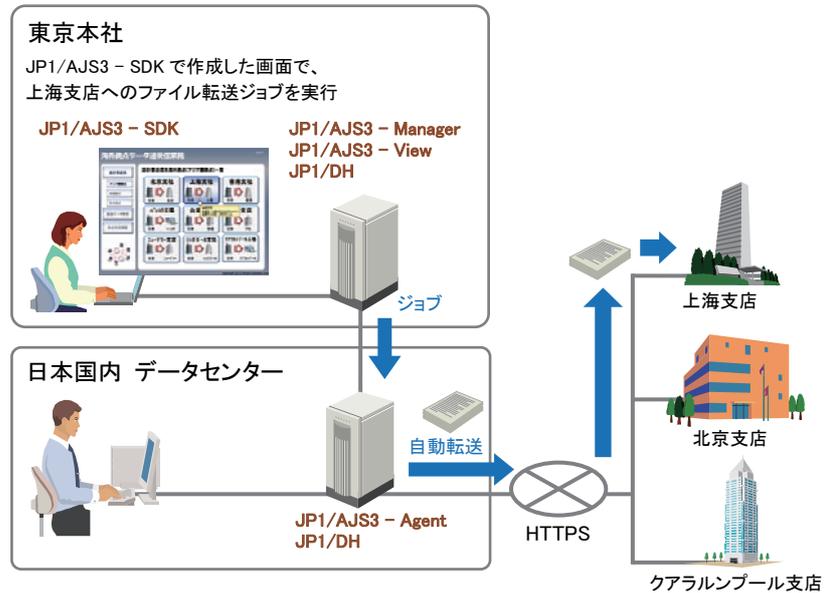
CAD データなどの大容量データを、転送の失敗・遅延が起きやすい海外などへ転送したいときに効果的です。また、一度に複数の拠点に送信することもできます。

JP1/AJS3 と JP1/DH と JP1/AJS3 - SDK を組み合わせたらどんな運用が実現できるの？

大容量データの転送作業を自動化してさらに効率アップ。業務に合わせた画面で簡単実行も！

業務システムから大容量のデータが出力され、そのデータを遠隔地に転送するといった作業が定期的には発生するときは、JP1/AJS3、JP1/DH を組み合わせると運用を自動化しましょう。

さらに、転送のタイミングを人が制御したい場合や臨時で実行したい場合は、JP1/AJS3 - SDK を組み合わせると便利です。業務に合わせた使いやすい画面で、簡単に転送ジョブを実行できます。



●さらに詳しく！

その他のオプション製品

統合システム運用管理 JP1: ジョブ管理: ソフトウェア: 日立
<http://www.hitachi.co.jp/soft/manual/rd/jp1/30213150/job.html>

製品の価格

統合システム運用管理 JP1: 価格: ソフトウェア: 日立
<http://www.hitachi.co.jp/soft/manual/rd/jp1/30213150/pricea.html>



ここでは、JP1/AJS3に関する基礎的な用語を解説しています。

▶の部分、このマニュアルでの初出箇所です。初出箇所も併せて読むことで、その用語に関する知識がもっと深まります。

英字

JP1/AJS3 - Agent (JP1/Automatic Job Management System 3 - Agent)

ジェーピーワン エージェーエス スリー エージェント

ジョブを実行するためのプログラムです。JP1/AJS3 - Managerから依頼を受けたジョブを実行します。

▶P.4「JP1でジョブ管理を行うには ～システム構成例～」

JP1/AJS3 - DA (JP1/Automatic Job Management System 3 - Definition Assistant)

ジェーピーワン エージェーエス スリー ディーエー

JP1/AJS3の定義情報を、効率良く編集するためのプログラムです。編集の際は、Microsoft Excel形式のテンプレートを使用するので、Microsoft Excelの各種機能も活用し、編集の効率化を図れます。

▶P.36「さらに便利なオプション製品のご紹介」

JP1/AJS3 - Manager (JP1/Automatic Job Management System 3 - Manager)

ジェーピーワン エージェーエス スリー マネージャー

ジョブネットやスケジュールの定義を管理し、ジョブネットの実行順序を制御するためのプログラムです。

JP1/AJS3 - Agentにジョブの実行を依頼し、実行状況および実行結果の情報をJP1/AJS3 - Agentから受け取って管理します。

なお、JP1/AJS3 - Managerは、自らをエージェントとしてジョブを実行することもできます。

▶P.4「JP1でジョブ管理を行うには ～システム構成例～」

JP1/AJS3 - PO (JP1/Automatic Job Management System 3 - Print Option)

ジェーピーワン エージェーエス スリー ピーオー

ジョブネットやスケジュールの情報を、ジョブネット定義情報、実行予実績確認表、実行結果確認表など任意のレイアウトの形式で表示したり、印刷したりするためのプログラムです。

また、JP1/AJS3のジョブネットやスケジュールの情報をMicrosoft Excel、PDF、CSV形式で出力できます。

▶P.20「Tip4 画面で見ている定義情報を報告書で使える形式に出力したい」

JP1/AJS3 - SDK (JP1/Automatic Job Management System 3 - Software Development Kit)

ジェーピーワン エージェーエス スリー エスディーケー

JP1/AJS3 - Managerを操作するユーザーアプリケーションを独自に作成するためのプログラムです。

▶P.36「さらに便利なオプション製品のご紹介」

JP1/AJS3 - UJO (JP1/Automatic Job Management System 3 - User Job Operation)

ジェーピーワン エージェーエス スリー ユージョーオー

JP1/AJS3 - Managerと連携して、業務の担当者がルートジョブネットを実行および監視できるようにするためのプログラムです。

▶P.37「さらに便利なオプション製品のご紹介」

JP1/AJS3 - View (JP1/Automatic Job Management System 3 - View)

ジェーピーワン エージェーエス スリー ビュー

JP1/AJS3 - ManagerをGUIで操作するためのプログラムです。JP1/AJS3 - Managerに接続して、ジョブネットやスケジュールの定義を編集したり、ジョブネットを実行したりできます。また、ジョブネットの実行状況や実行結果を表示します。

▶P.4「JP1でジョブ管理を行うには ～システム構成例～」

JP1/AJS3 - WOA (JP1/Automatic Job Management System 3 - Web Operation Assistant)

ジェーピーワン エージェーエス スリー ダブルオーエー

複数のマネージャーサーバ上で、実行されているユニットの状態や結果を、Webブラウザ上に一覧表示するプログラムです。

▶P.37「さらに便利なオプション製品のご紹介」

JP1/Base

ジェーピーワン ベース

JP1/AJS3 - Managerの前提プログラムです。ユーザー権限の管理やJP1イベントの送受信をします。

▶P.4「JP1でジョブ管理を行うには ～システム構成例～」

JP1/DH (JP1/Data Highway)

ジェーピーワン ディーエイチ

日本と、海外を含む拠点間の大容量ファイルの受け渡しを高速に行うためのプログラムです。

インターネット回線が利用できる環境であれば、多重通信技術によって高速かつ安全に、海外へファイルを転送できます。

▶P.38「さらに便利なオプション製品のご紹介」

PCジョブ

実行ファイルを指定した処理に使用するジョブです。実行先サーバがWindowsのときに使用します。ちなみに、実行先サーバがUNIXの場合はUNIXジョブを、連携製品の場合はQUEUEジョブを使用します。

▶P.16「[Tip2 ファイルの作成完了をきっかけに後続ジョブを実行したい](#)」

Windowsイベントログ監視ジョブ

JP1/Baseのイベントログトラップ機能と連携し、Windowsのイベントログに特定の情報が書き込まれたときに、後続のジョブやジョブネットを実行させるジョブです。

▶P.16「[Tip2 ファイルの作成完了をきっかけに後続ジョブを実行したい](#)」

あ

イベントジョブ

ある事象をきっかけに、後続のジョブネットやジョブを実行させるジョブです。きっかけとなる事象には、大きく分けて次のような種類があります。

- ・ファイルの作成・更新・削除
- ・ログファイルや、Windowsイベントログの更新
- ・メールやイベント、メッセージの受信
- ・指定時間の経過

▶P.16「[Tip2 ファイルの作成完了をきっかけに後続ジョブを実行したい](#)」

か

確定実行登録

スケジュール定義にもとづいてあらかじめ実行日時を算出しておき、その日時に従ってジョブネットを起動し、処理を開始する場合の実行登録方法です。

▶P.11「[Step2 ジョブの実行](#)」

カレンダー定義

業務の運用日と休業日についての情報です。カレンダー定義は、ジョブグループごとに定義します。

▶P.8「[Step1 ジョブの定義](#)」

関連線

ジョブ間をつないで、実行順序を定義するための線です。

▶P.7「[Step1 ジョブの定義](#)」

起算スケジュール

実行開始日時、処理サイクル、および休業日の振り替えに従って、決められた次回実行予定日を起点日として扱い、新たに次回実行予定日を算出したい場合に定義するスケジュールのことです。

▶P.18「[Tip3 給与支給日を振り替えたら、給与計算日もずらしたい](#)」

計画実行登録

スケジュール定義にもとづいてジョブネットを起動し、処理を開始する場合の実行登録方法です。

▶P.11「[Step2 ジョブの実行](#)」

さ

サスペンド

ルートジョブネット、およびルートジョブネットの下位にあるユニットの実行を抑止するための機能です。

▶P.24「[Tip6 実行中の業務を止めないでジョブの定義を修正したい](#)」

サマリー監視

監視したいジョブネットを選択し、そのジョブネットの実行状況を1つの画面で監視する方法です。ジョブグループが異なるジョブネットでも、まとめて1つの画面に表示できます。

▶P.12「[Step3 ジョブの監視](#)」

実行エージェント

ジョブやジョブネットの実行先となるサーバに対する任意の名称です。

▶P.30「[実行エージェントを活用してスマートにジョブ管理](#)」

実行エージェント制限機能

ジョブやジョブネットの実行先となるサーバを制限する機能です。

▶P.31「[実行エージェントを活用してスマートにジョブ管理](#)」

実行登録

ジョブネットを実行できるよう、システムに登録することです。実行登録の方法には、「計画実行登録」、「確定実行登録」および「即時実行登録」があります。

▶P.11「[Step2 ジョブの実行](#)」

ジョブ

自動化する処理の最小単位です。コマンド、アプリケーションプログラム、シェルスクリプトなどの処理を定義できます。

▶P.6「Step1 ジョブの定義」

ジョブグループ

複数のジョブネットをグルーピングしたものです。業務や部署単位でジョブグループを作成することで、ジョブネットが管理しやすくなります。

▶P.6「Step1 ジョブの定義」

ジョブネット

複数のジョブの作業順序を定義したものです。ジョブネットを実行すると、ジョブネット中のジョブが実行順序に従って自動的に実行されます。

▶P.6「Step1 ジョブの定義」

スケジュール定義

ジョブネットの実行開始日時や処理サイクルなどの情報です。スケジュール定義は、ジョブネットごとに定義できます。

▶P.8「Step1 ジョブの定義」

ステータス監視

画面を表示した時点でのジョブネットの実行状況を監視する方法です。また、日単位や月単位でもジョブネットの実行状況を監視できます。

さらに、マップ形式(ジョブやジョブネットを定義したときと同じ形式)で実行予定や実行状態を確認できます。

▶P.12「Step3 ジョブの監視」

世代数

実行登録するジョブネットの実行予定回数です。

▶P.11「Step2 ジョブの実行」

即時実行登録

実行登録と同時にジョブネットを起動し、処理を開始する場合の実行登録方法です。

▶P.11「Step2 ジョブの実行」

な

ネストジョブネット

ルートジョブネットの下位に定義されたジョブネットのことです。

▶P.7「Step1 ジョブの定義」

は

ファイル監視ジョブ

特定のファイルが作成、削除、または更新されたことをきっかけに、後続のジョブネットやジョブを実行させるジョブです。

▶P.16「Tip2 ファイルの作成完了をきっかけに後続ジョブを実行したい」

ま

待ち合わせ条件

異なるジョブネット間のユニット同士の実行順序を制御するために、ユニットに設定する条件です。

▶P.14「Tip1 他部署の処理が完了したら、自部署の処理を実行したい」

や

ユニット

JP1/AJS3で自動化する業務を構成する要素(ジョブグループ、ジョブネット、ジョブなど)です。

▶P.6「Step1 ジョブの定義」

ら

リリース登録

あらかじめ定義しておいたジョブネットが、指定した日時に運用中のジョブネットと切り替わるように登録しておく操作です。

▶P.22「Tip5 日時を指定し、自動でジョブネットを切り替えたい」

ルートジョブネット

ジョブネットのうち、最上位のジョブネットのことです。

▶P.7「Step1 ジョブの定義」

ログファイル監視ジョブ

JP1/Baseのログファイルトラップ機能と連携し、指定したログファイルに、特定の情報が書き込まれたことをきっかけに、後続のジョブネットやジョブを実行させるジョブです。

▶P.16「Tip2 ファイルの作成完了をきっかけに後続ジョブを実行したい」

このマニュアルでの表記

このマニュアルでは、日立製品およびそのほかの製品の名称を省略して表記しています。製品の正式名称と、このマニュアルでの表記を次に示します。

このマニュアルでの表記		正式名称
JP1/AJS3	JP1/AJS3 - Agent	JP1/Automatic Job Management System 3 - Agent
	JP1/AJS3 - Manager	JP1/Automatic Job Management System 3 - Manager
	JP1/AJS3 - View	JP1/Automatic Job Management System 3 - View
オプション製品	JP1/AJS3 - DA	JP1/Automatic Job Management System 3 - Definition Assistant
	JP1/AJS3 - PO	JP1/Automatic Job Management System 3 - Print Option
	JP1/AJS3 - SDK	JP1/Automatic Job Management System 3 - Software Development Kit
	JP1/AJS3 - UJO	JP1/Automatic Job Management System 3 - User Job Operation
	JP1/AJS3 - WOA	JP1/Automatic Job Management System 3 - Web Operation Assistant
	JP1/DH	JP1/Data Highway
Microsoft Excel		Microsoft(R) Excel
		Microsoft(R) Office Excel
Microsoft Outlook		Microsoft(R) Outlook(R) 2003
		Microsoft(R) Outlook(R) 2007
		Microsoft(R) Outlook(R) 2010
		Microsoft(R) Outlook(R) Express

マイクロソフト製品のスクリーンショットの使用について

Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。



JP1 知っ得 クイズ 答え

P.15(Tip1)の答え : C

JP1 製品のサポートは、サービス商品「日立サポート 360」で対応しています。JP1 の運用でお困りのときに問題解決を支援したり、JP1 製品に関する情報（新製品、FAQ など）を提供したりするといったサービスをご提供します。

P.23(Tip5)の答え : B

JP1 認定エンジニアのほかに、JP1 認定セールスコーディネーター、JP1 認定プロフェッショナル、JP1 認定コンサルタントといった資格があります。

P.27(Tip7)の答え : B

「JP1」は、UNIX 分散環境に対応したジョブ管理製品でした。ここから生まれた「JP1/AJS」は、ジョブ管理製品として日本で初めて Windows 環境に対応しました。

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

- ・Adobeは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- ・MicrosoftおよびExcelは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・Microsoft OfficeおよびExcelは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・Microsoft OfficeおよびOutlookは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- ・QR コードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。
- ・UNIXは、The Open Groupの米国ならびに他の国における登録商標です。
- ・Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>).
- ・This product includes software developed by IAIK of Graz University of Technology.
- ・その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

HITACHI
Inspire the Next

株式会社 日立製作所



2013年 3月 3021-3-150

All Rights Reserved. Copyright (C) 2013, Hitachi, Ltd.

製品に関するお問い合わせはお気軽に

■JP1の製品情報

<http://www.hitachi.co.jp/soft/manual/rd/jp1/30213150/jp1.html>



■JP1の価格

<http://www.hitachi.co.jp/soft/manual/rd/jp1/30213150/priceb.html>



■JP1ご購入前の相談・お問い合わせ

HMCC(日立オープンミドルウェア問い合わせセンター)

電話番号:0120-55-0504(フリーダイヤル)

携帯電話、PHS、一部のIP電話などフリーダイヤルがご利用いただけない場合は、ダイヤルイン:044-850-9293(通話料金はお客さまのご負担となります)

利用時間:9:00~12:00,13:00~17:00(土・日・祝日・弊社休日を除く)

※個人情報保護ポリシー

(<http://www.hitachi.co.jp/soft/manual/rd/jp1/30213150/privacy.html>)

にご同意の上ご連絡ください。



■JP1ご購入後の技術的なお問い合わせ

お問い合わせには別途ソフトウェアサポートサービスのご契約が必要です。ソフトウェアサポートサービスについての詳しいご案内はこちら。

<http://www.hitachi.co.jp/soft/manual/rd/jp1/30213150/service.html>

